

# 令和4年度 外国人介護福祉士候補者受入れ施設巡回訪問実施結果について

## I. 目的・手段

公益社団法人国際厚生事業団（以下、「JICWELS」という）は、EPAによる外国人介護福祉士候補者・特例介護福祉士候補者の受入れ状況の確認、就労・研修に関する助言を行うため、巡回訪問を実施した。令和4年度においては、受入れ体制、研修体制、候補者の現状等を把握するため、オンライン又は施設での面談及び質問票を用いて実施した。

## II. 実施対象

介護福祉士候補者受入れ施設:650 施設

介護福祉士候補者:2237 名（内 5 名は産育休中および長期一時帰国中）

※ 産育休中および長期一時帰国中の 5 名は本年度実施状況の算出対象外とし、次頁以降、全候補者数は 2232 名と記載する。

## III. 実施期間

令和4年5月10日から令和5年2月22日迄

## IV. 巡回訪問実施内容

### (1) 受入れ責任者及び担当者への質問

受入れ責任者及び受入れ担当者に面談の上、主に以下の事項について確認

- ・労務管理状況（賃金の支払い、同等額以上報酬の遵守状況、安全衛生教育実施状況 等）
- ・年次有給休暇の管理状況
- ・研修経費の状況（補助金申請額、研修費用用途 等）
- ・健康診断実施の有無（発見された病気の把握と対応状況）
- ・ストレスチェック実施の有無
- ・職場・生活適応状況（緊急連絡先の把握、事故発生の有無、ホームシックの有無 等）
- ・手続き関係（社会保険の加入状況、外国人雇用状況の届出の有無 等）
- ・候補者受入れによる影響（サービスの質、職場や利用者への影響 等）
- ・受入れ施設からの各候補者の現状（労務・慣行等への順応、住居把握 等）
- ・EPA以外の外国人材雇用の有無
- ・新型コロナウイルス感染症の影響の有無

### (2) 研修責任者への質問

ア. 研修責任者、日本語学習指導者に面談の上、主に以下の事項について確認

- ・介護就労研修の状況（業務内容、就労状況 等）
- ・日本語研修の取組み状況（研修時間、学習方法 等）
- ・国家試験対策の取組み状況（研修時間、学習方法 等）
- ・研修支援等に関する受入れ施設からの要望 等

イ. 日本語指導を実施の上、研修の進捗状況について助言・指導

(3) 介護福祉士候補者への質問

介護福祉士候補者に面談の上、主に以下の事項について確認

- ・職場適応状況（職場でのコミュニケーション、日本語習熟状況 等）
- ・労務管理（賃金明細の理解、労働条件の理解 等）
- ・健康状況（健康管理、体調管理 等）
- ・身分証の管理（パスポートの保管状況、在留カードの携帯状況 等）
- ・メンタルヘルス（職場での悩み、不安に感じている事柄の有無 等）

1. 受入れ責任者及び担当者への質問

(1) 労務管理及び手続関係について

① 同等額以上報酬の確認について

全施設について、日本人と同等の報酬が支払われていることを賃金台帳、給与明細、俸給表等で確認した。

② 市区町村の居住地変更手続きについて

全施設について、候補者の居住地変更手続きが済んでいることを確認した。

③ 社会保険（厚生年金保険・健康保険）の加入手続きについて

全施設について、賃金台帳等を参照し、社会保険（厚生年金保険・健康保険）の加入手続きが済んでいることを確認した。

④ 雇用保険の加入手続きについて

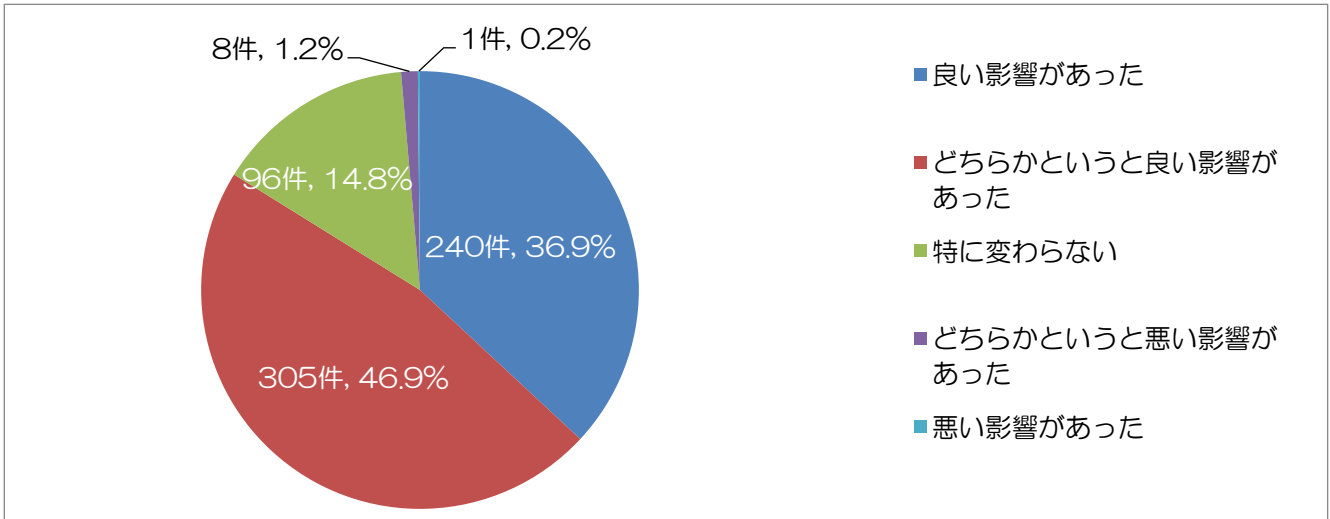
全施設について、賃金台帳及び雇用保険被保険者資格取得等確認通知書を参照し、雇用保険の加入手続きが済んでいることを確認した。

(2) 候補者受入れによる施設への影響について

① 日本人職員への影響について

「日本人職員への影響」について質問したところ、「良い影響があった」240件、「どちらかというとも良い影響があった」305件、「特に変わらない」96件、「どちらかというとも悪い影響があった」8件、「悪い影響があった」1件という回答があった。(図 1-1)

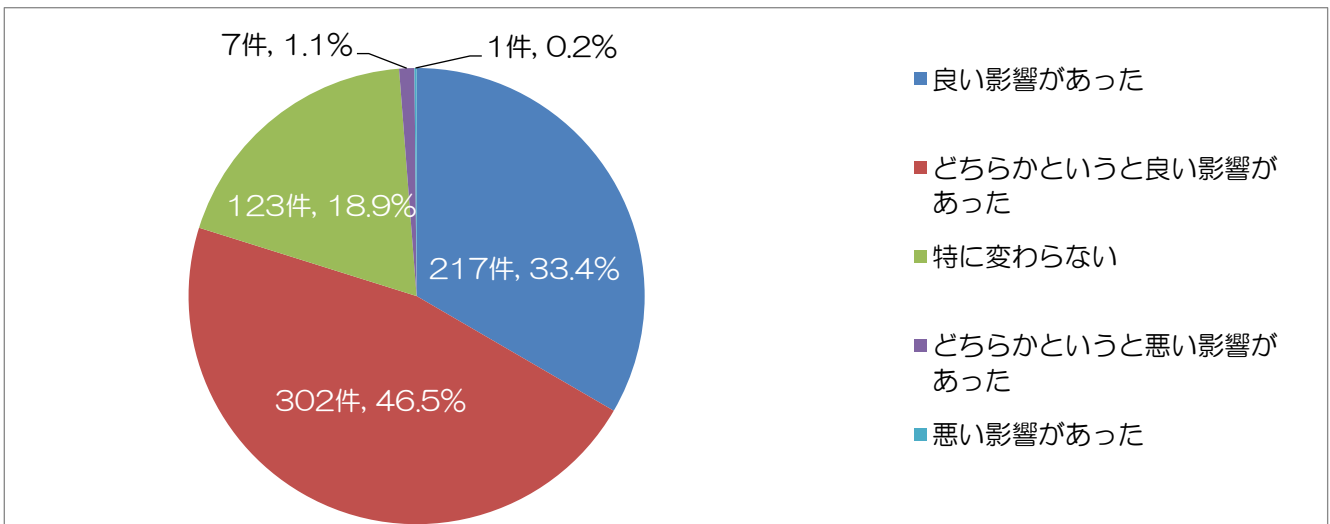
(図 1-1) 日本人職員への影響について



② 職場環境への影響について

「職場環境への影響」について質問したところ、「良い影響があった」217件、「どちらかというとも良い影響があった」302件、「特に変わらない」123件、「どちらかというとも悪い影響があった」7件、「悪い影響があった」1件という回答があった。(図 1-2)

(図 1-2) 職場環境の影響について

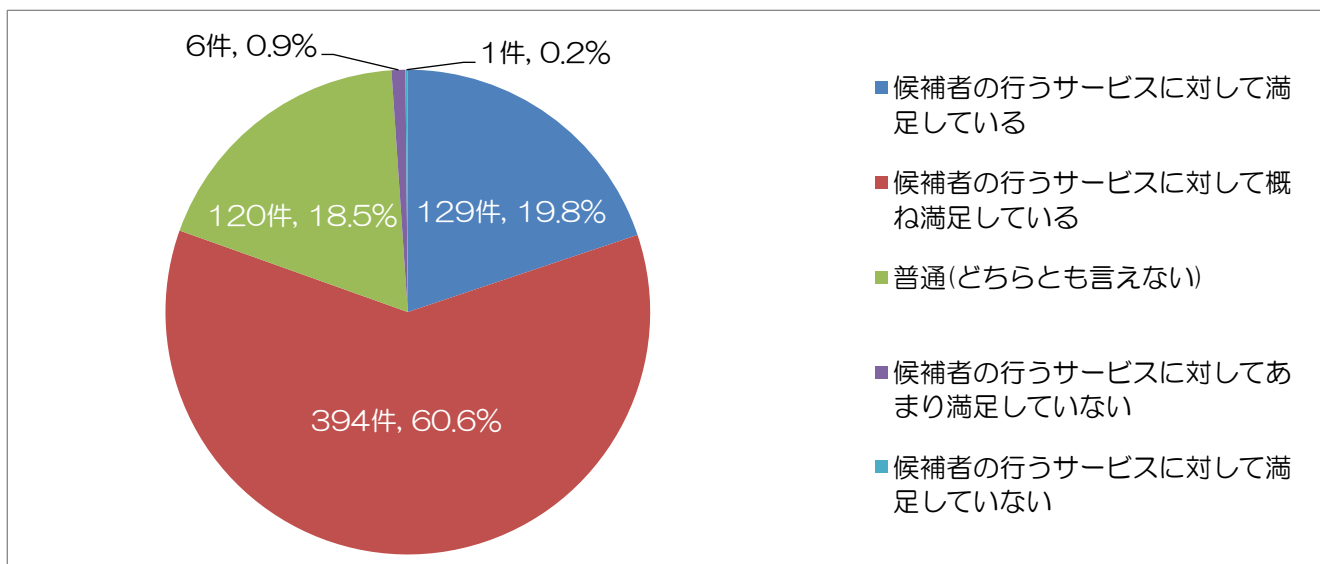


③ 患者・利用者への影響について

「患者・利用者への影響」について質問したところ、「候補者の行うサービスに対して満足している」129件、「候補者の行うサービスに対して概ね満足している」394件、「普通（どちらとも言えない）」120件、「候補者の行うサービスに対してあまり満足していない」6件、「候補者の行うサービスに対して満足していない」1件という回答があった。

(図 1-3)

(図 1-3) 患者・利用者への影響について

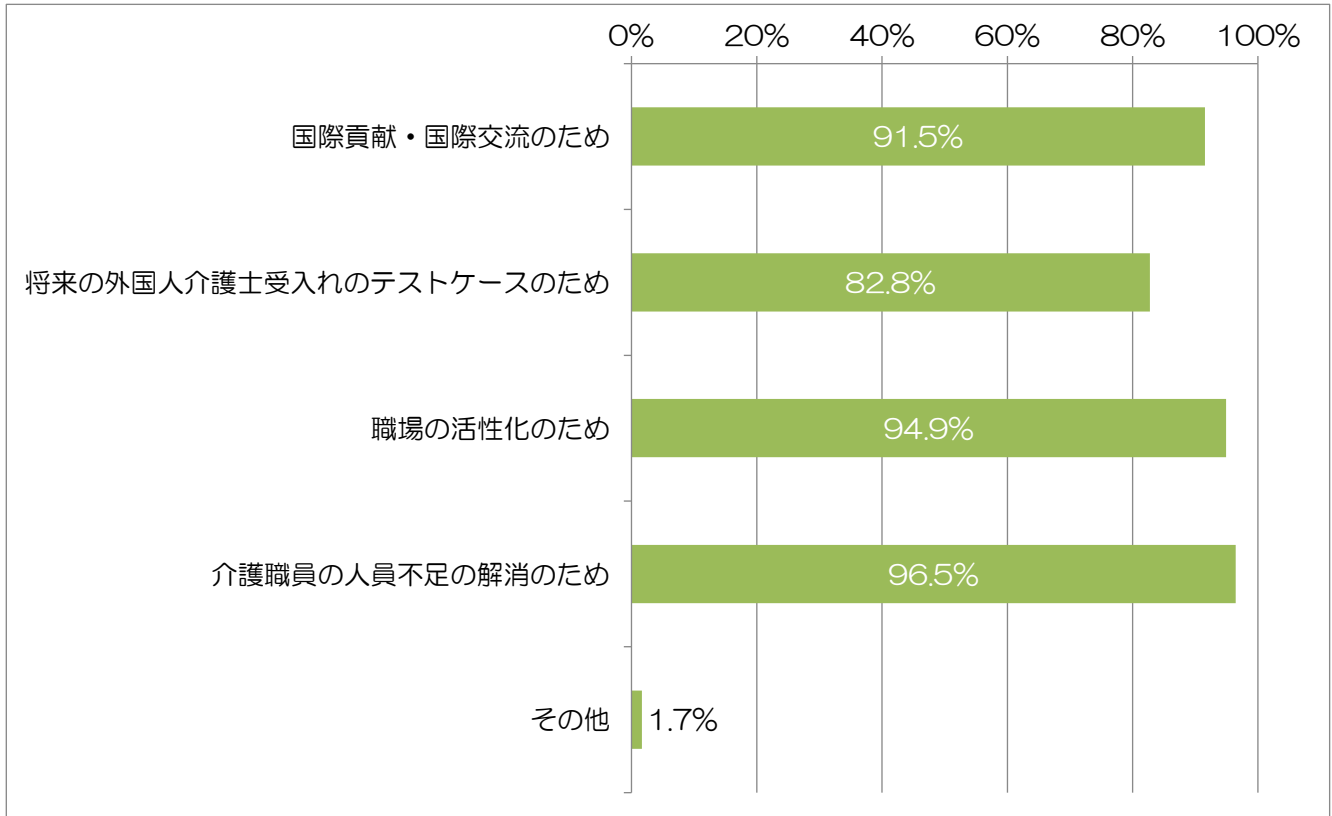


(3) 候補者の受入れ目的及び今後の受入れについて

① 候補者の受入れ目的について

「候補者の受入れ目的」について質問したところ、「国際貢献・国際交流のため」595件、「将来の外国人介護福祉士受入れのテストケースのため」538件、「職場の活性化のため」617件、「介護職員の人員不足解消のため」627件、「その他」11件という回答があった。(図 1-4)

(図 1-4) 候補者の受入れ目的について (複数回答)



国際貢献・国際交流のため	595 件(91.5%)
将来の外国人介護士の受入れのテストケースのため	538 件(82.8%)
職場の活性化のため	617 件(94.9%)
介護職員の人員不足の解消のため	627 件(96.5%)
その他 <sup>1</sup>	11 件(1.7%)

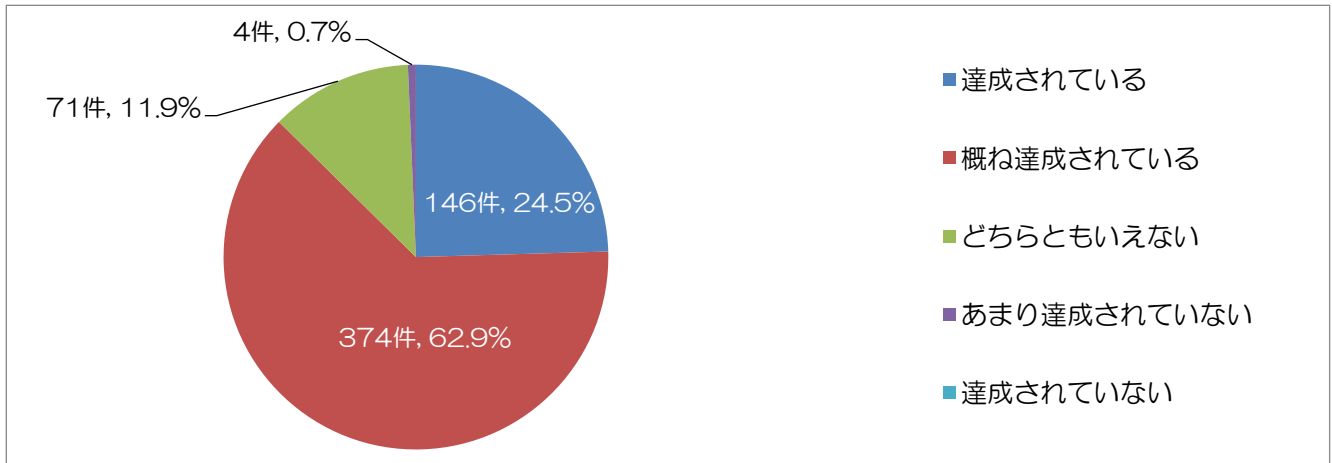
<sup>1</sup>その他の回答として、「指導過程における介護の質の向上」「優秀な人材の確保によるサービスの質向上」「県内で最初のEPA 受入れをすることで、他法人へのアドバイザーになること」等の回答があった。

② 候補者受入れ目的の達成度について<sup>2</sup>

ア. 国際貢献・国際交流の達成度について

「国際貢献・国際交流の達成度」について質問したところ、「達成されている」146件、「概ね達成されている」374件、「どちらともいえない」71件、「あまり達成されていない」4件という回答があった。(図1-5)

(図1-5) 国際貢献・国際交流の達成度について

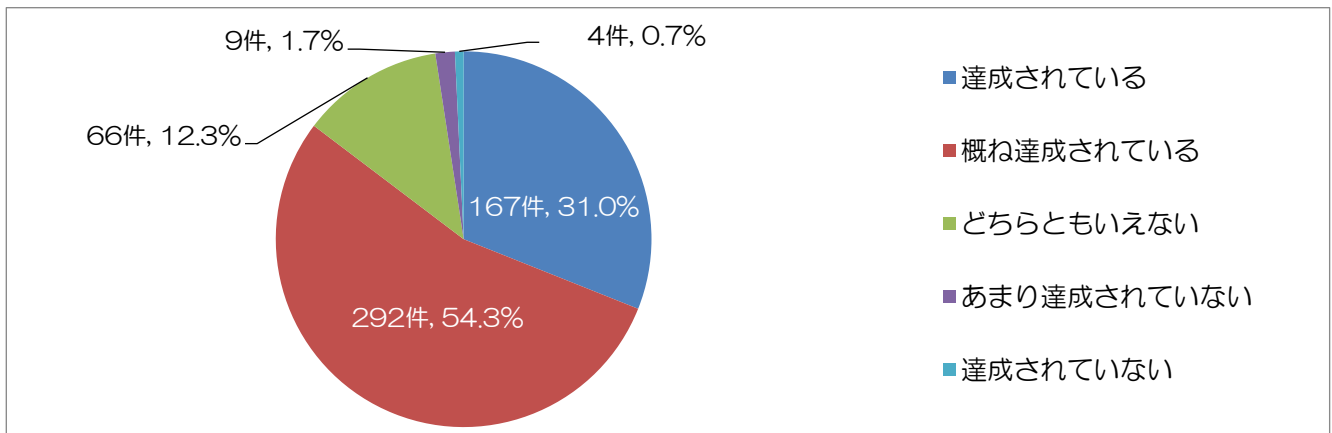


イ. 将来の外国人介護福祉士受入れのテストケースとしての達成度について<sup>3</sup>

「将来の外国人介護福祉士受入れのテストケースとしての達成度」について質問したところ、「達成されている」167件、「概ね達成されている」292件、「どちらともいえない」66件、「あまり達成されていない」9件、「達成されていない」4件という回答があった。

(図1-6)

(図1-6) 将来の外国人介護福祉士受入れのテストケースとしての達成度について



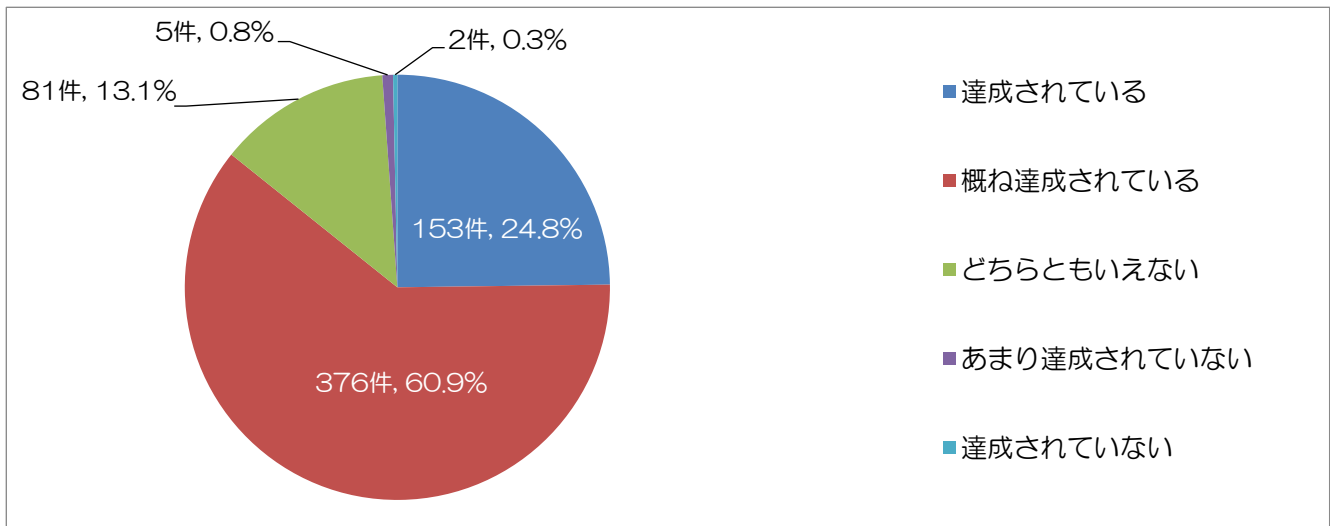
<sup>2</sup> 候補者の受入れ目的について「国際貢献・国際交流のため」と回答した595件を母数としている。

<sup>3</sup> 候補者の受入れ目的について「将来の外国人介護福祉士の受入れのテストケースのため」と回答した538件を母数としている。

ウ. 職場の活性化の達成度について<sup>4</sup>

「職場の活性化の達成度」について質問したところ、「達成されている」153件、「概ね達成されている」376件、「どちらともいえない」81件、「あまり達成されていない」5件、「達成されていない」2件という回答があった。(図1-7)

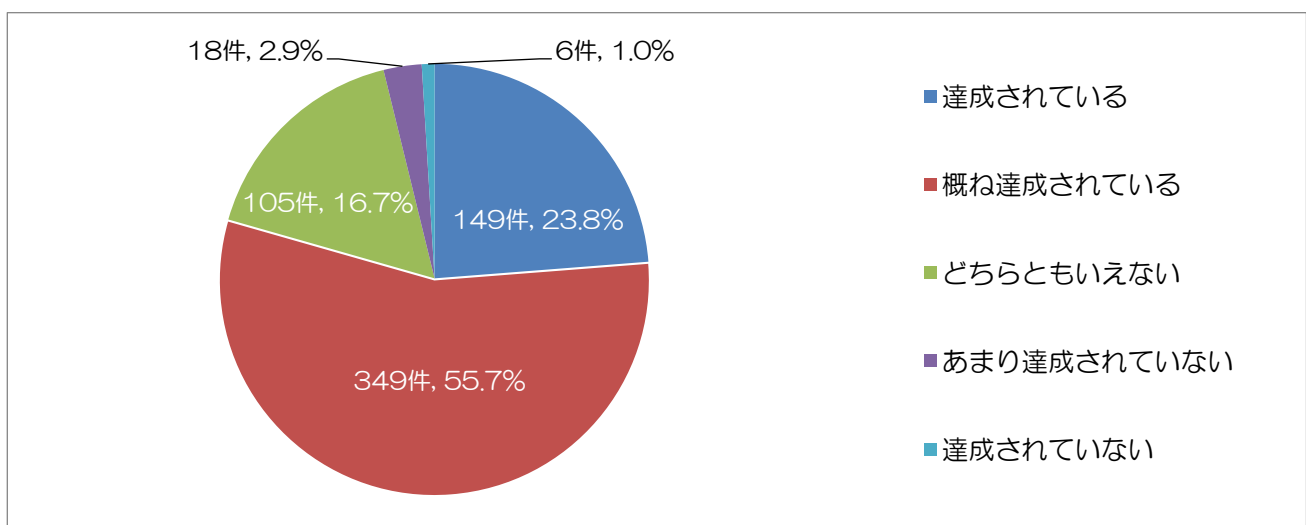
(図1-7) 職場の活性化の達成度について



エ. 介護職員の人員不足の解消の達成度について<sup>5</sup>

「介護職員の人員不足の解消の達成度」について質問したところ、「達成されている」149件、「概ね達成されている」349件、「どちらともいえない」105件、「あまり達成されていない」18件、「達成されていない」6件という回答があった。(図1-8)

(図1-8) 介護職員の人員不足の解消の達成度について



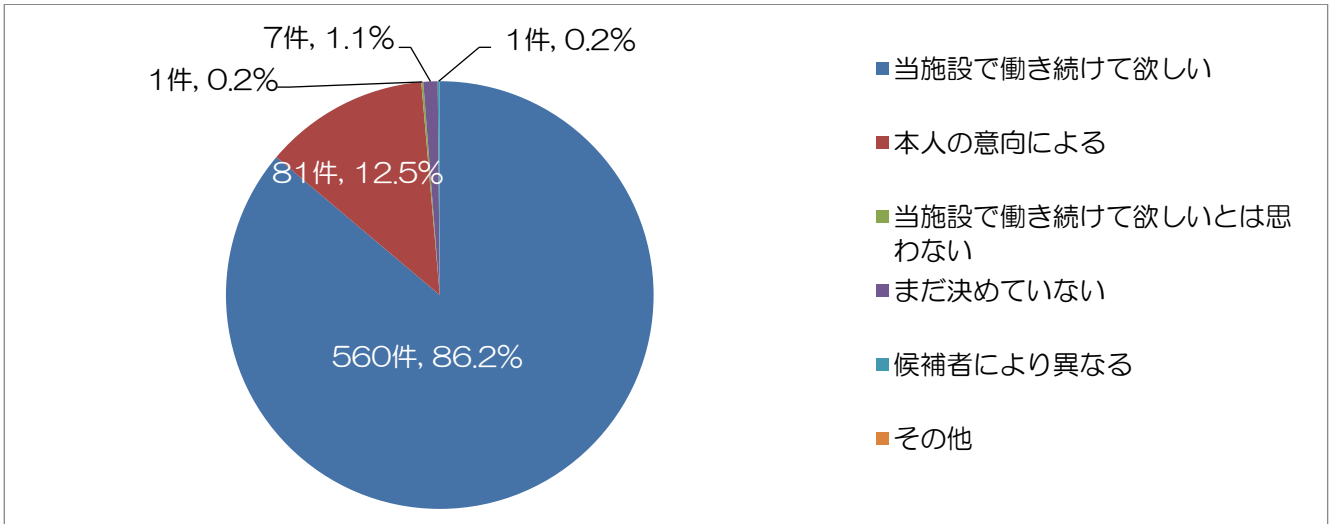
<sup>4</sup> 候補者の受入れ目的について「職場の活性化のため」と回答した617件を母数としている。

<sup>5</sup> 候補者の受入れ目的について「介護職員の人員不足の解消のため」と回答した627件を母数としている。

③ 国家試験合格後の処遇について

「国家試験合格後の候補者の処遇」について質問したところ、「当施設で働き続けて欲しい」560件、「本人の意向による」81件、「当施設で働き続けて欲しいとは思わない」1件、「まだ決めていない」7件、「候補者により異なる」1件という回答があった。(図1-9)

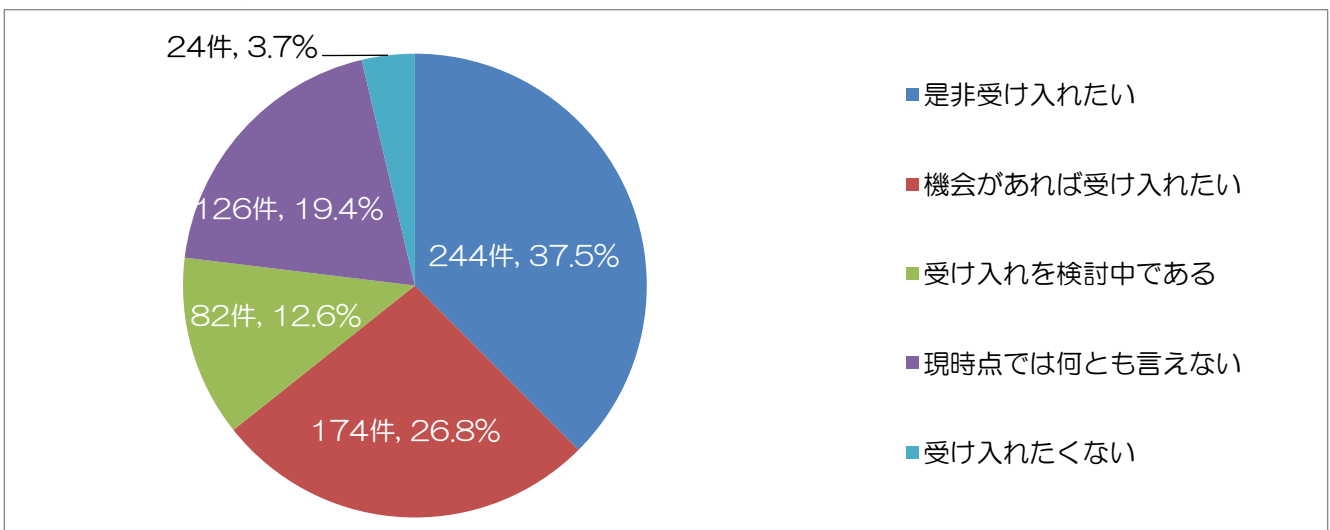
(図1-9) 国家試験合格後の処遇について



④ 新たな候補者の受入れについて

「新たな候補者の受入れ」について質問したところ、「是非受け入れたい」244件、「機会があれば受け入れたい」174件、「受け入れを検討中である」82件、「現時点では何とも言えない」126件、「受け入れたくない」24件という回答があった。(図1-10)

(図1-10) 今後、新たな候補者の受入れについて



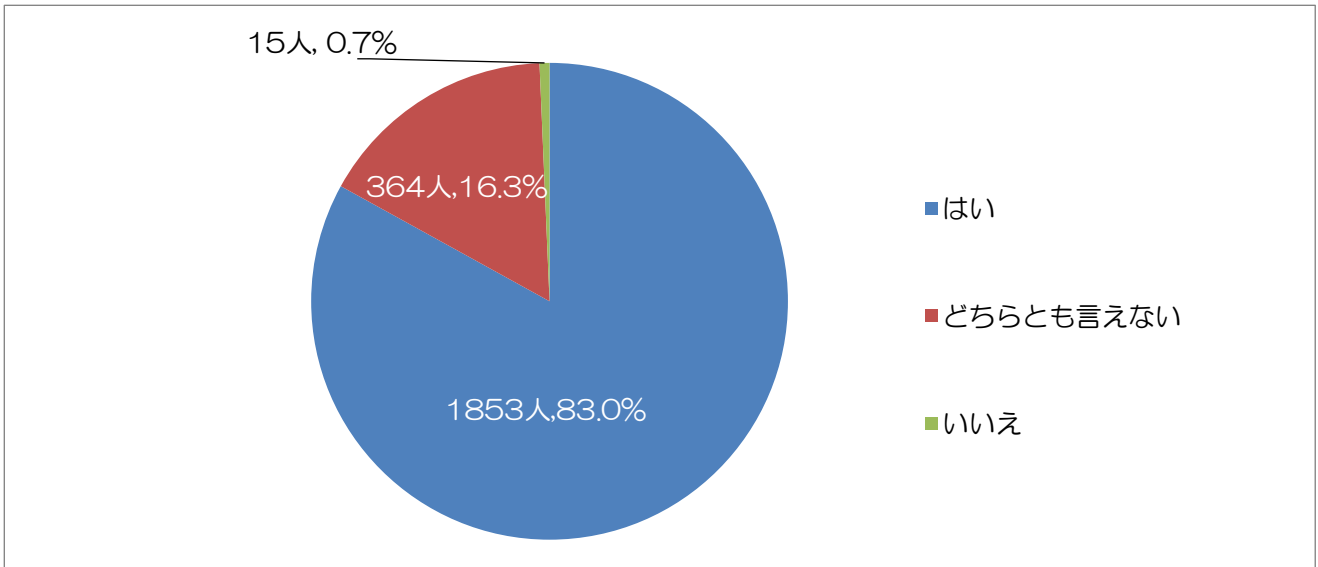


(4) 各候補者の職場適応について

① 風俗習慣、雇用慣行等の順応について

「風俗習慣、雇用慣行等を理解し順応しているか」と質問したところ、「はい」1853人、「どちらとも言えない」364人、「いいえ」15人という回答があった。(図 1-11)

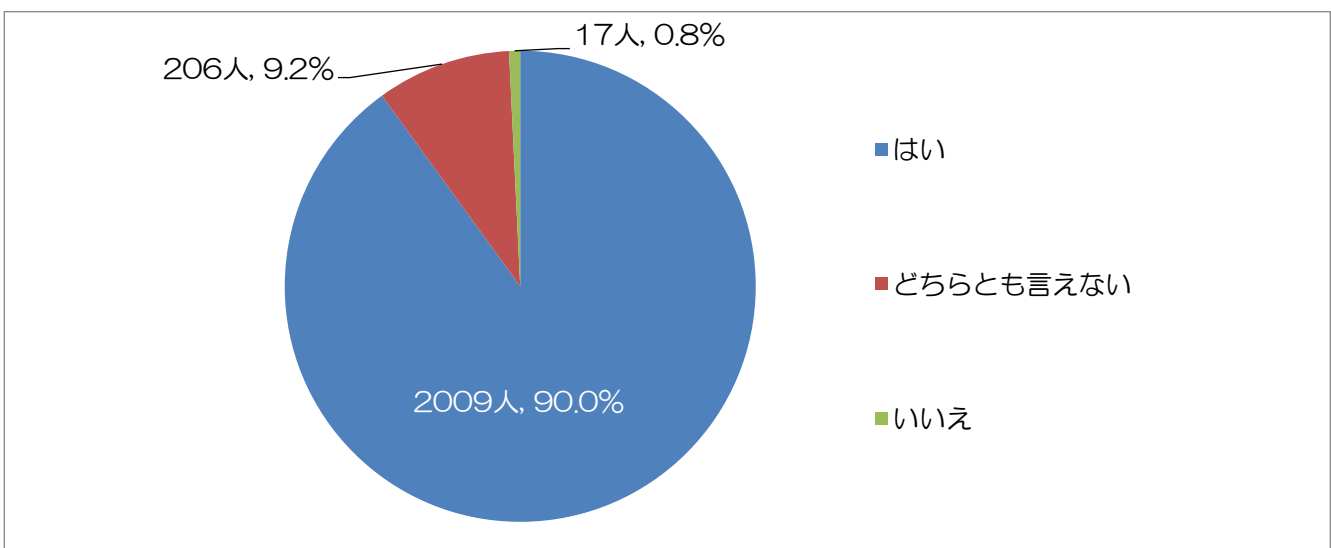
(図 1-11) 風俗習慣、雇用慣行等の順応について



② 従業員や職場への協調

「従業員と協調し、職場に溶け込んでいるか」と質問したところ、「はい」2009人、「どちらとも言えない」206人、「いいえ」17人という回答があった。(図 1-12)

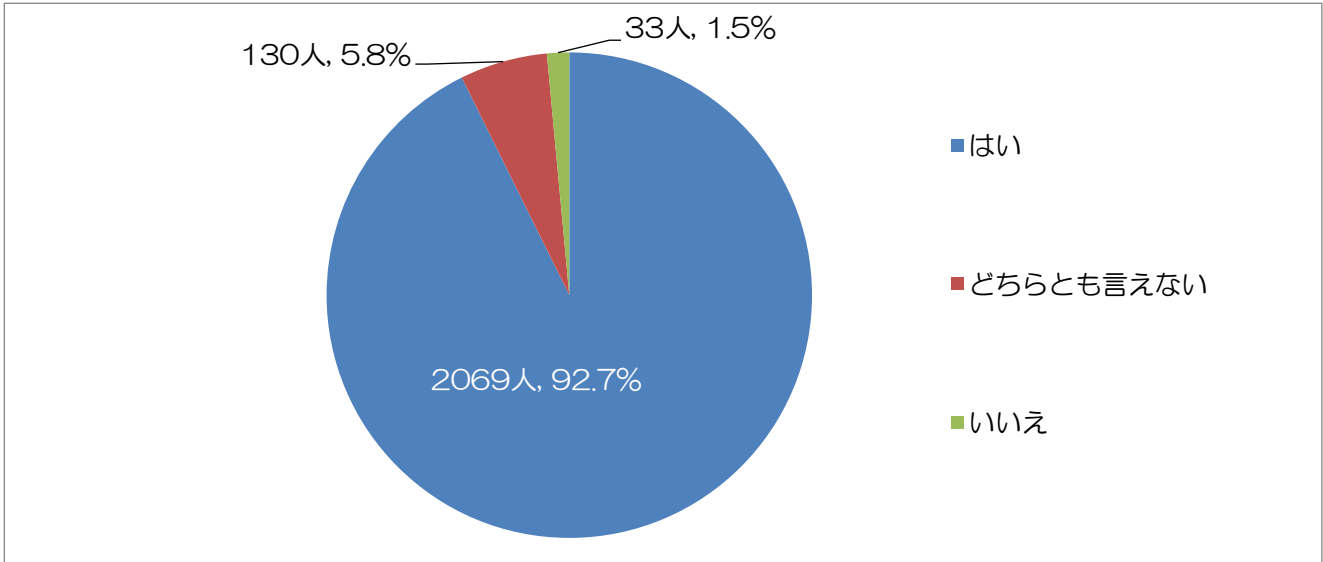
(図 1-12) 他の従業員との協調について



③ 就業規則等の規律の遵守について

「欠勤、遅刻等はなく、規律を遵守しているか」と質問したところ、「はい」2069人、「どちらとも言えない」130人、「いいえ」33人という回答があった。(図 1-13)

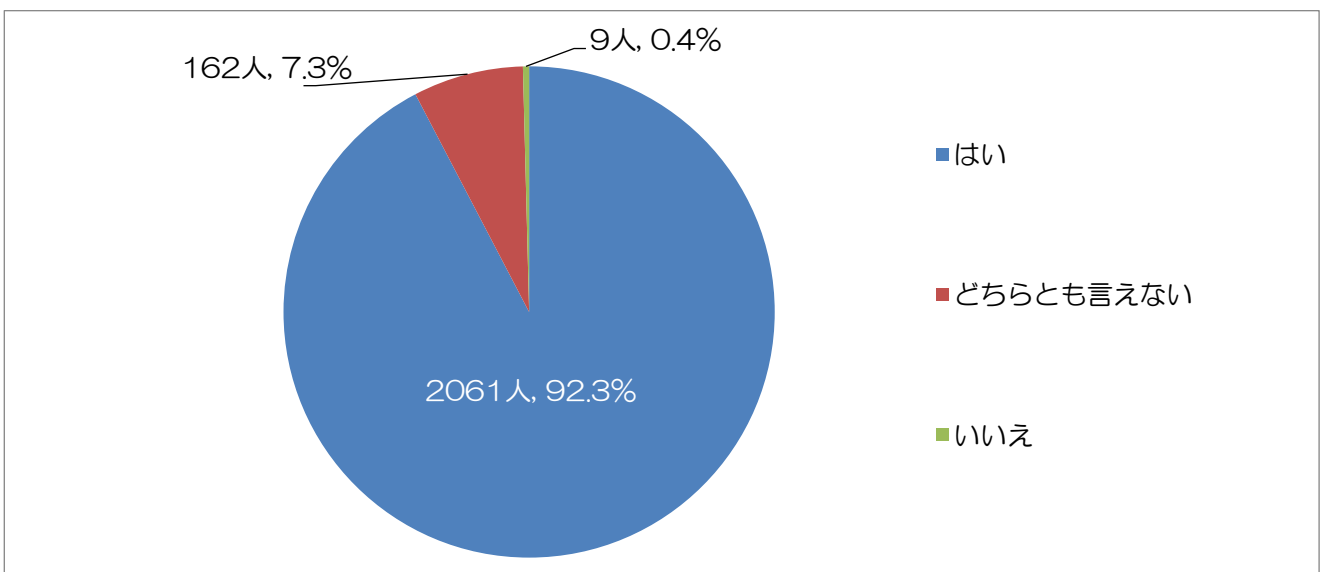
(図 1-13) 就業規則等の規律の遵守について



④ 精神的・経済的な自立について

「生活環境の変化、制約等の中で精神的・経済的に自立しているか」と質問したところ、「はい」2061人、「どちらとも言えない」162人、「いいえ」9人という回答があった。(図 1-14)

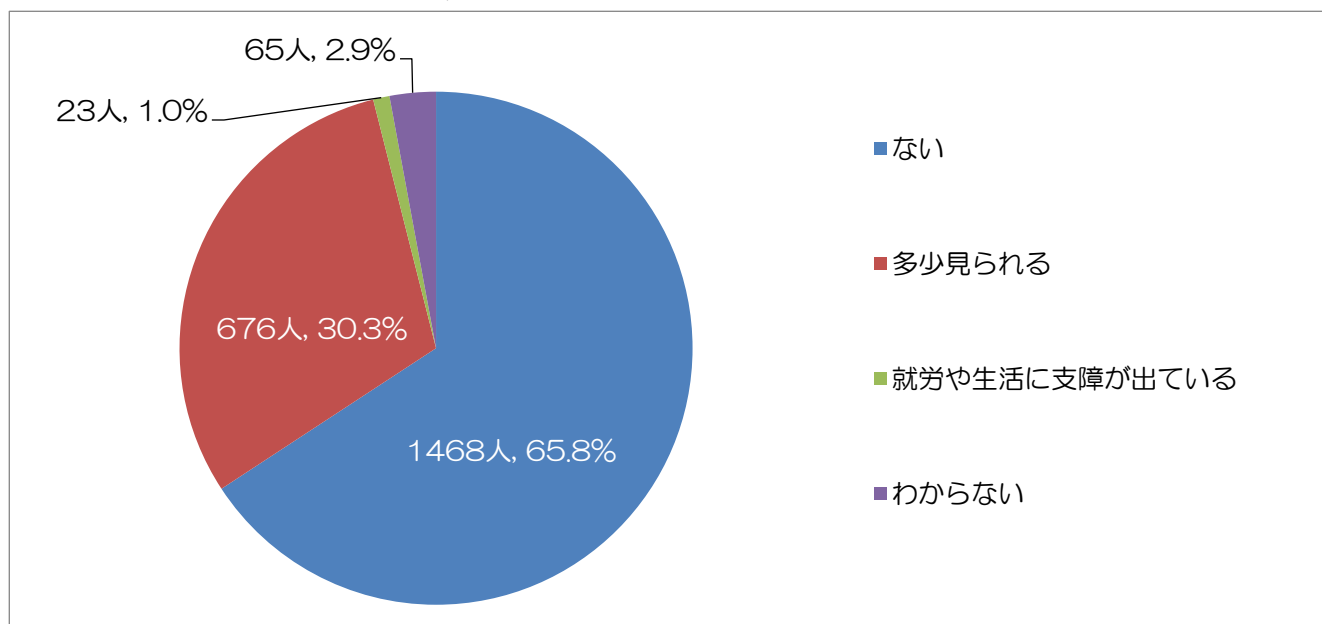
(図 1-14) 精神的・経済的な自立について



⑤ ホームシック等の情緒不安定な様子の有無について

「候補者に、気分が落ち込む、ホームシック等、情緒不安定な様子がありますか」と質問したところ、「ない」1468人、「多少見られる」676人、「就労や生活に支障が出ている」23人、「わからない」65人という回答があった。(図 1-15)

(図 1-15) ホームシック等の情緒不安定な様子の有無について

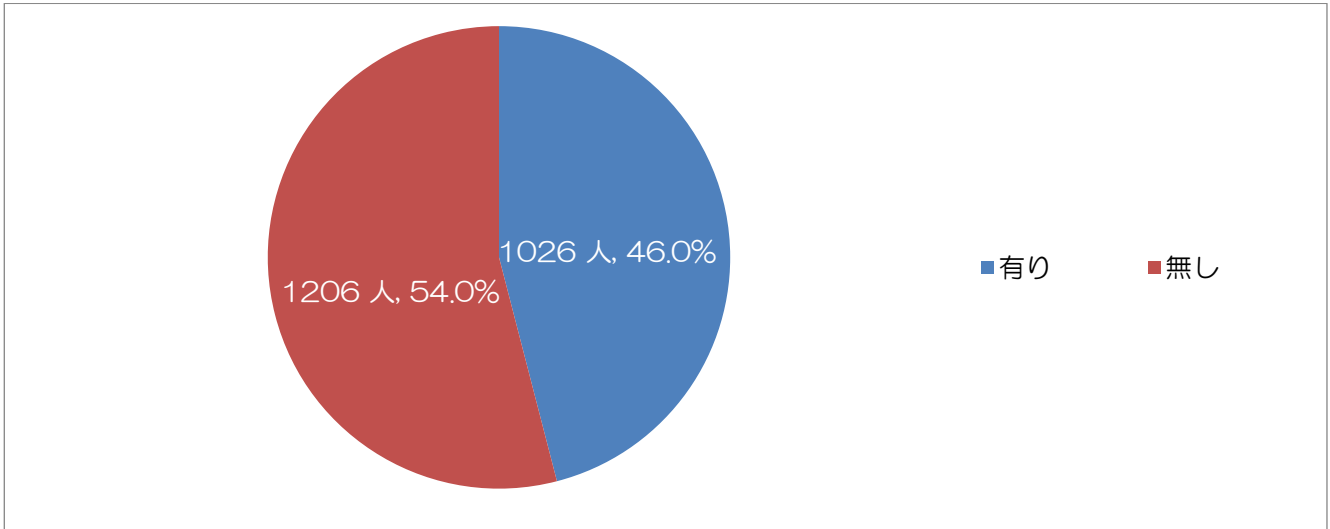


(5) 所定時間外労働（直近の1ヵ月）の有無について

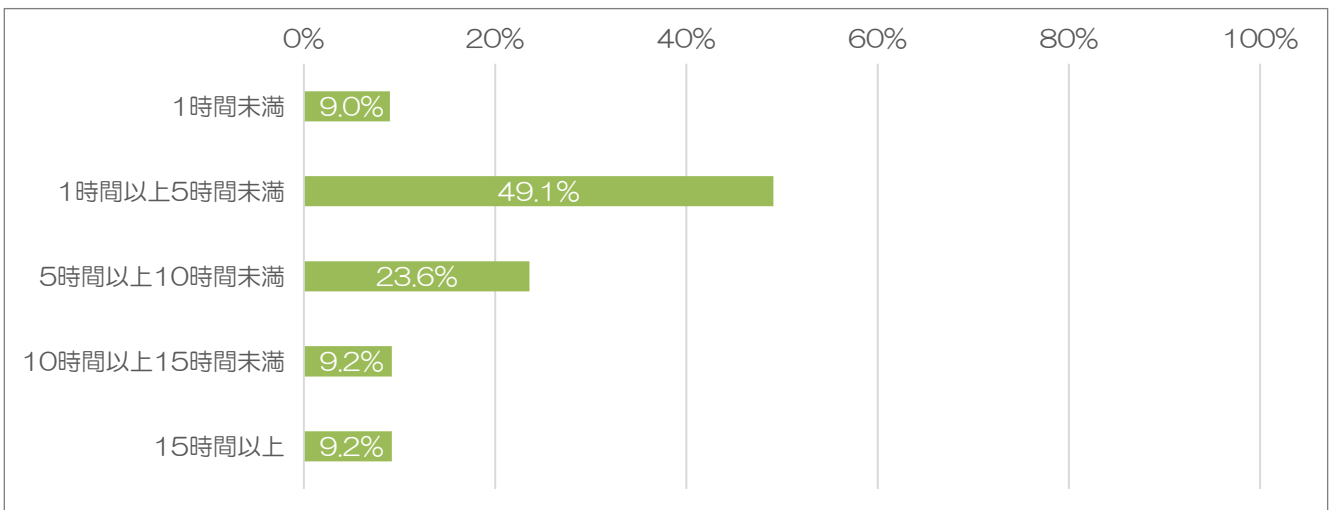
直近1ヵ月の所定時間外労働の有無について質問したところ、「有り」1026人、「無し」1206人という回答があった。（図1-16）

また、「有り」と回答した場合、直近1か月の所定時間外労働の時間数について質問したところ、「1時間未満」92人、「1時間以上5時間未満」504人、「5時間以上10時間未満」242人、「10時間以上15時間未満」94人、「15時間以上」94人という回答があった。（図1-17）

(図1-16) 所定時間外労働（直近の1ヵ月）の有無について



(図1-17) 所定時間外労働（直近の1ヵ月）の内訳について

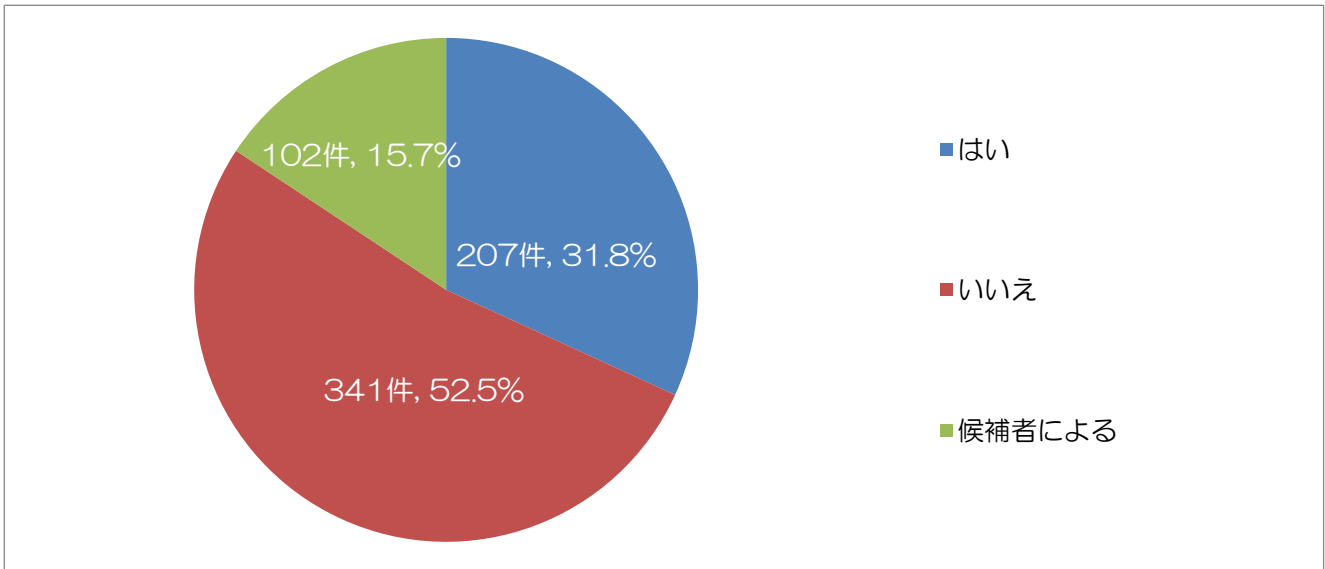


1時間未満	92人(9.0%)
1時間以上5時間未満	504人(49.1%)
5時間以上10時間未満	242人(23.6%)
10時間以上15時間未満	94人(9.2%)
15時間以上	94人(9.2%)

(6) 候補者の住居施設について<sup>6</sup>

「住居施設」について、「他の候補者・合格者と共同生活しているか」と質問したところ、「はい」207件、「いいえ」341件、「候補者による」102件、という回答があった。(図1-18)

(図1-18) 共同生活の状況について

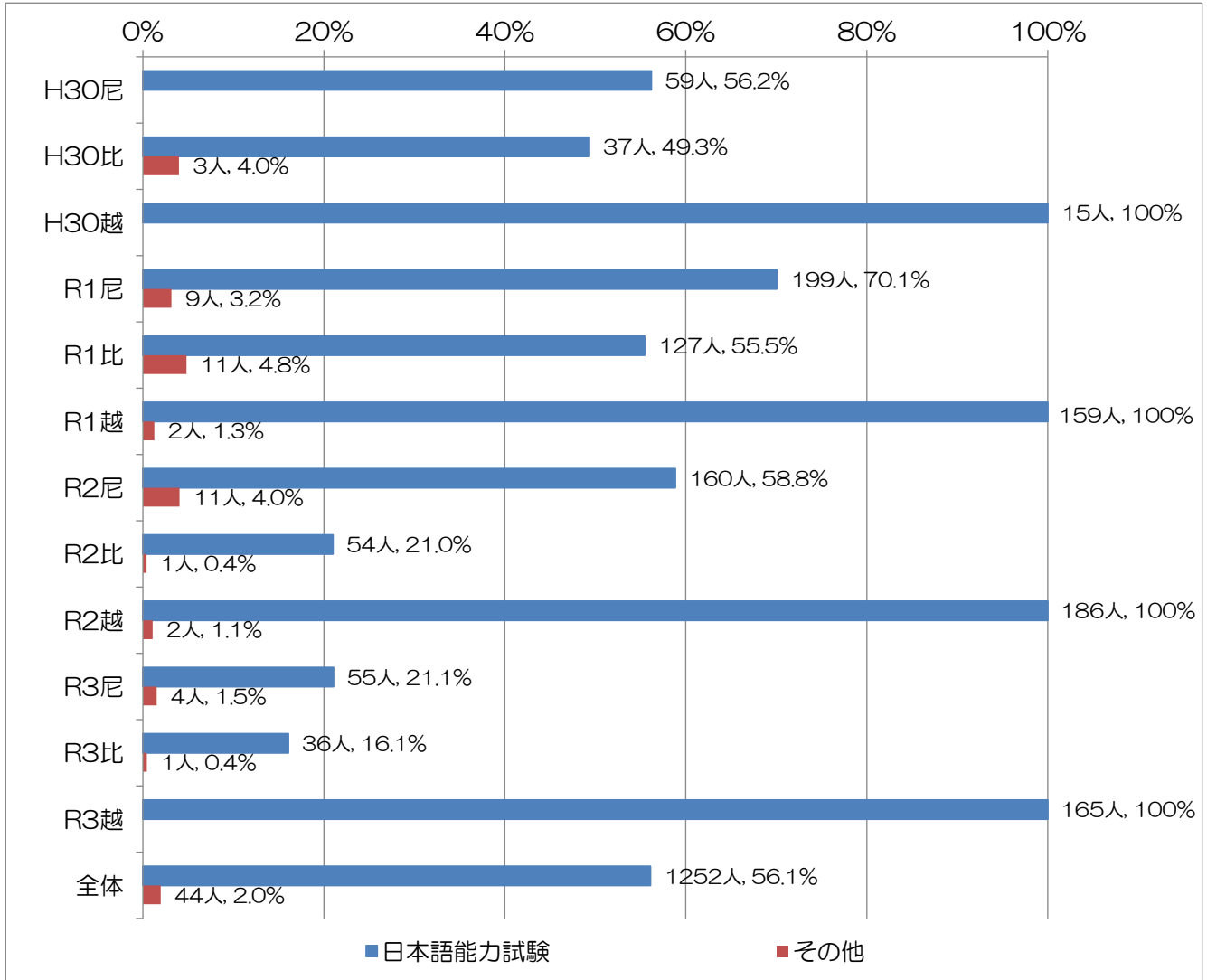


<sup>6</sup> 本設問は施設ごとに伺っている為、施設数(650件)を母数としている。

(7) 候補者が有する資格について

「候補者の有する資格」について質問したところ、「日本語能力試験」1252人、「その他」44人という回答があった。(図 1-19)

(図 1-19) 候補者が有する資格について (複数回答)



項目	H30尼	H30比	H30越	R1尼	R1比	R1越	R2尼	R2比	R2越	R3尼	R3比	R3越	全体
日本語能力試験	59人 (56.2%)	37人 (49.3%)	15人 (100.0%)	199人 (70.1%)	127人 (55.5%)	159人 (100.0%)	160人 (58.8%)	54人 (21.0%)	186人 (100.0%)	55人 (21.1%)	36人 (16.1%)	165人 (100.0%)	1252人 (56.1%)
その他 <sup>7</sup>	0人 (0.0%)	3人 (4.0%)	0人 (0.0%)	9人 (3.2%)	11人 (4.8%)	2人 (1.3%)	11人 (4.0%)	1人 (0.4%)	2人 (1.1%)	4人 (1.5%)	1人 (0.4%)	0人 (0.0%)	44人 (2.0%)

<sup>7</sup>その他として「J TEST」「介護職員初任者研修」「母国での看護師資格」「介護職員実務者研修」等の回答があった。

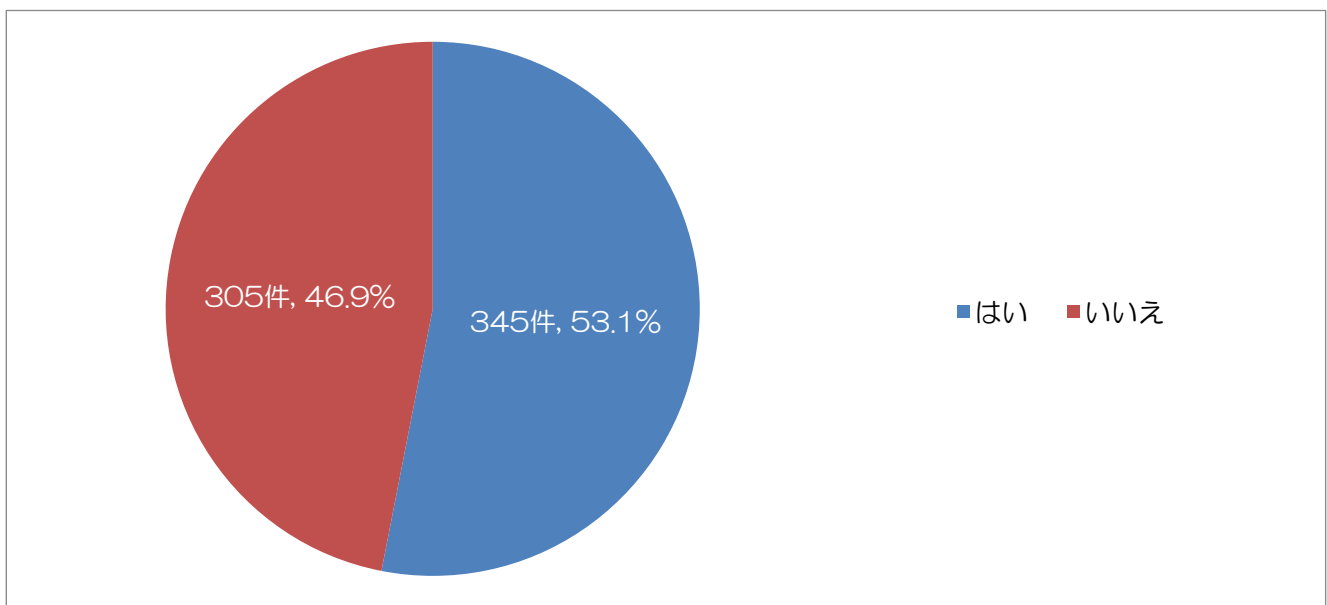
(8) 新型コロナウイルス感染症の影響について

「新型コロナウイルス感染症の影響」について受入れに関する課題が生じているか質問したところ「はい」345件、「いいえ」305件という回答があった。(図 1-20)

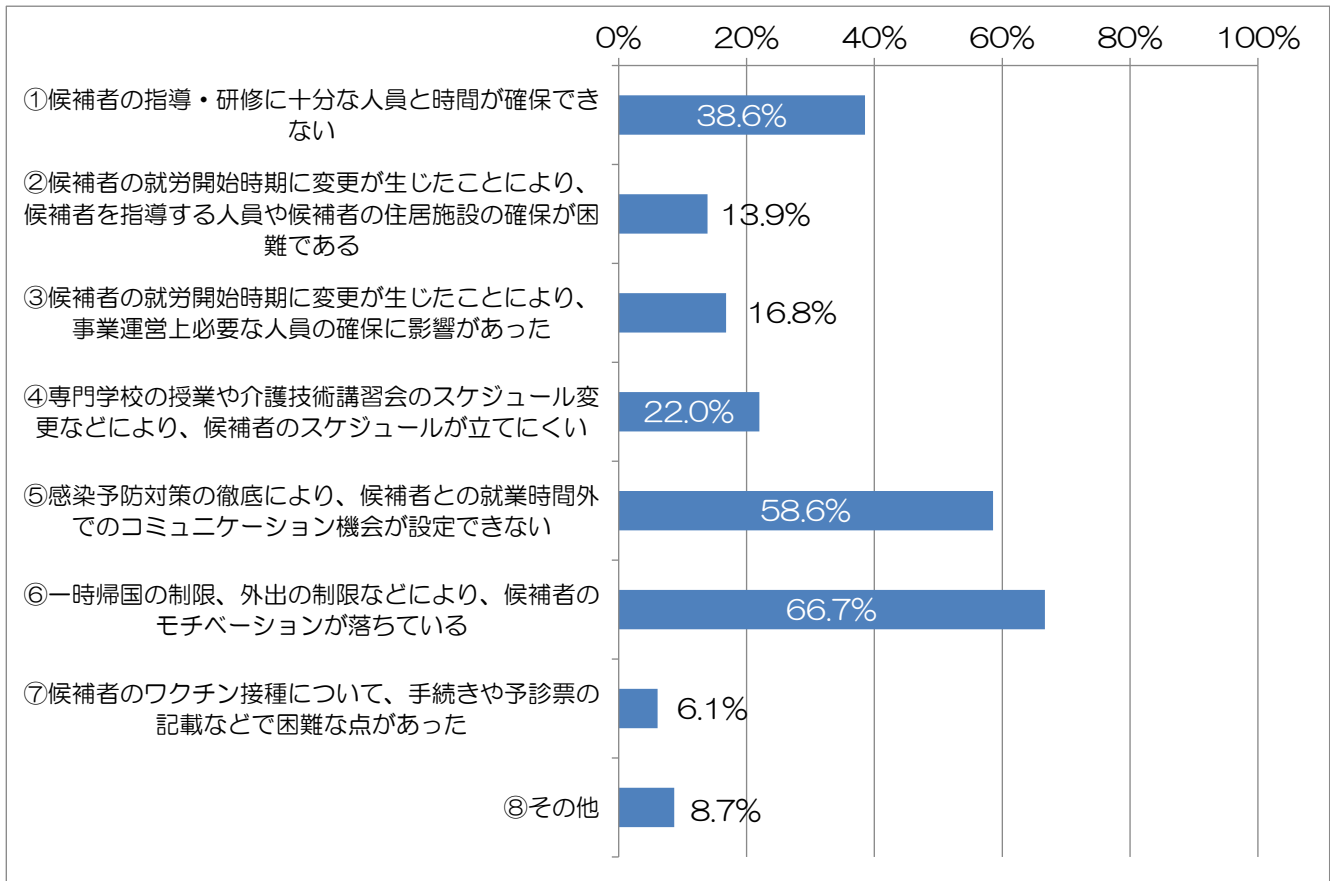
また、「はい」と回答した場合、具体的にどのような課題が生じているか質問したところ、「候補者の指導・研修に十分な人員と時間が確保できない」133件、「候補者の就労開始時期に変更が生じたことにより、候補者を指導する人員や候補者の住居施設の確保が困難である」48件、「候補者の就労開始時期に変更が生じたことにより、事業運営上必要な人員の確保に影響があった」58件、「専門学校の授業や介護技術講習会のスケジュール変更などにより、候補者のスケジュールを立てにくい」76件、「感染予防対策の徹底により、候補者との就業時間外でのコミュニケーション機会が設定できない」202件、「一時帰国の制限、外出の制限などにより、候補者のモチベーションが落ちている」230件、「候補者のワクチン接種について、手続きや予診票の記載などで困難な点があった」21件、「その他」30件という回答があった。

(図 1-21)

(図 1-20) 新型コロナウイルス感染症の影響について



(図 1-21) 受け入れに関する課題について (複数回答)



①候補者の指導・研修に十分な人員と時間が確保できない	133 件(38.6%)
②候補者の就労開始時期に変更が生じたことにより、候補者を指導する人員や候補者の住居施設の確保が困難である	48 件(13.9%)
③候補者の就労開始時期に変更が生じたことにより、事業運営上必要な人員の確保に影響があった	58 件(16.8%)
④専門学校の授業や介護技術講習会のスケジュール変更などにより、候補者のスケジュールが立てにくい	76 件(22.0%)
⑤感染予防対策の徹底により、候補者との就業時間外でのコミュニケーション機会が設定できない	202 件(58.6%)
⑥一時帰国の制限、外出の制限などにより、候補者のモチベーションが落ちている	230 件(66.7%)
⑦候補者のワクチン接種について、手続きや予診票の記載などで困難な点があった	21 件(6.1%)
⑧その他 <sup>8</sup>	30 件(8.7%)

<sup>8</sup> その他には「JLPT の受験をさせたいが、感染が心配で受験に出すことができない」「緊急事態宣言等により講師の受け入れが難しい」等の回答があった。



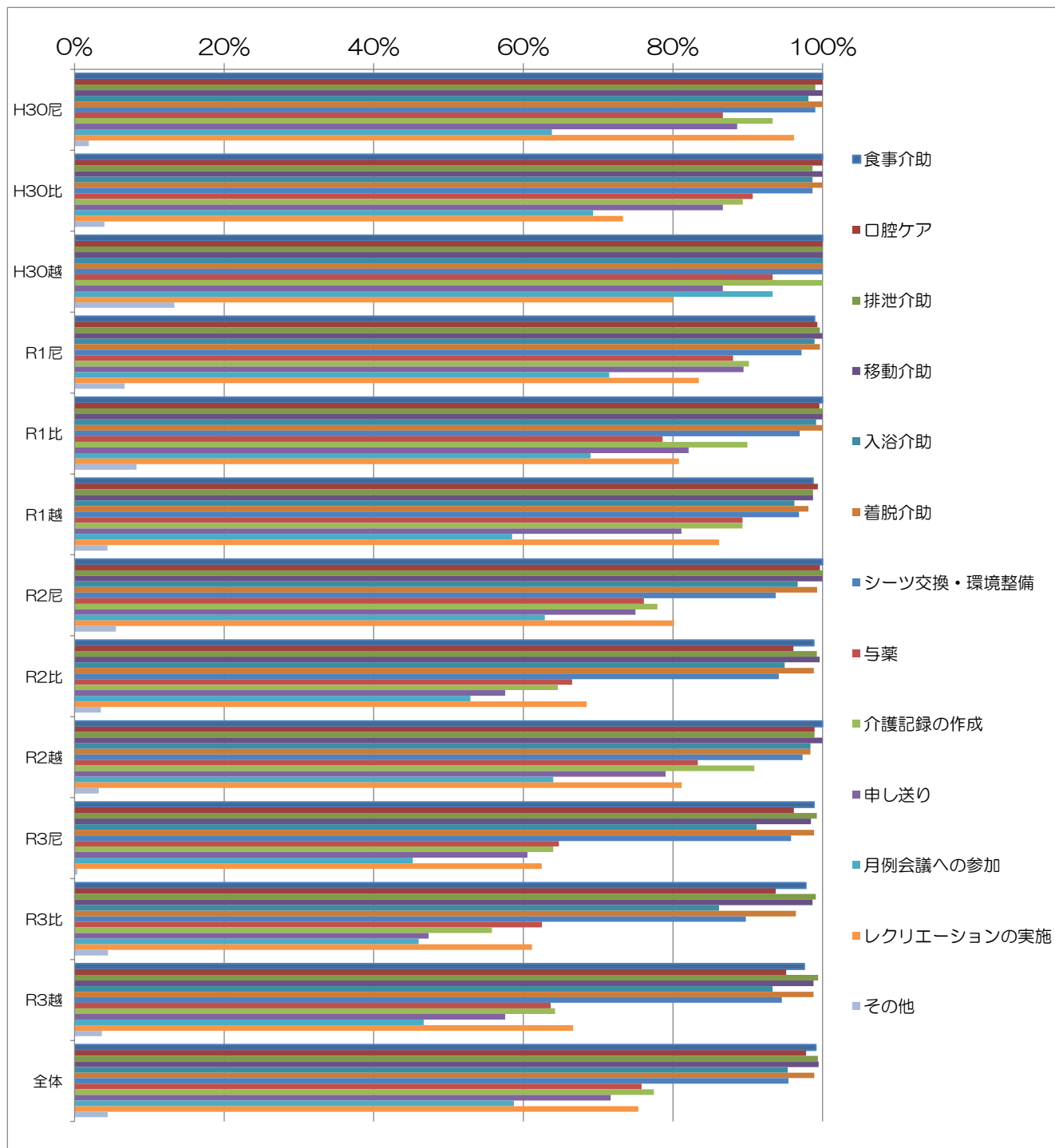
## 2. 研修責任者への質問（候補者について、研修責任者が回答）

### (1) 候補者の業務について

#### ① 候補者が行っている業務の状況について

「候補者の現在行っている業務の状況」について質問したところ、候補者の概ね90%以上が「食事介助」、「口腔ケア」、「排泄介助」、「移動介助」、「入浴介助」、「着脱介助」、「シーツ交換・環境整備」を行っていた。（図2-1）

（図2-1）候補者が行っている業務について（複数回答）



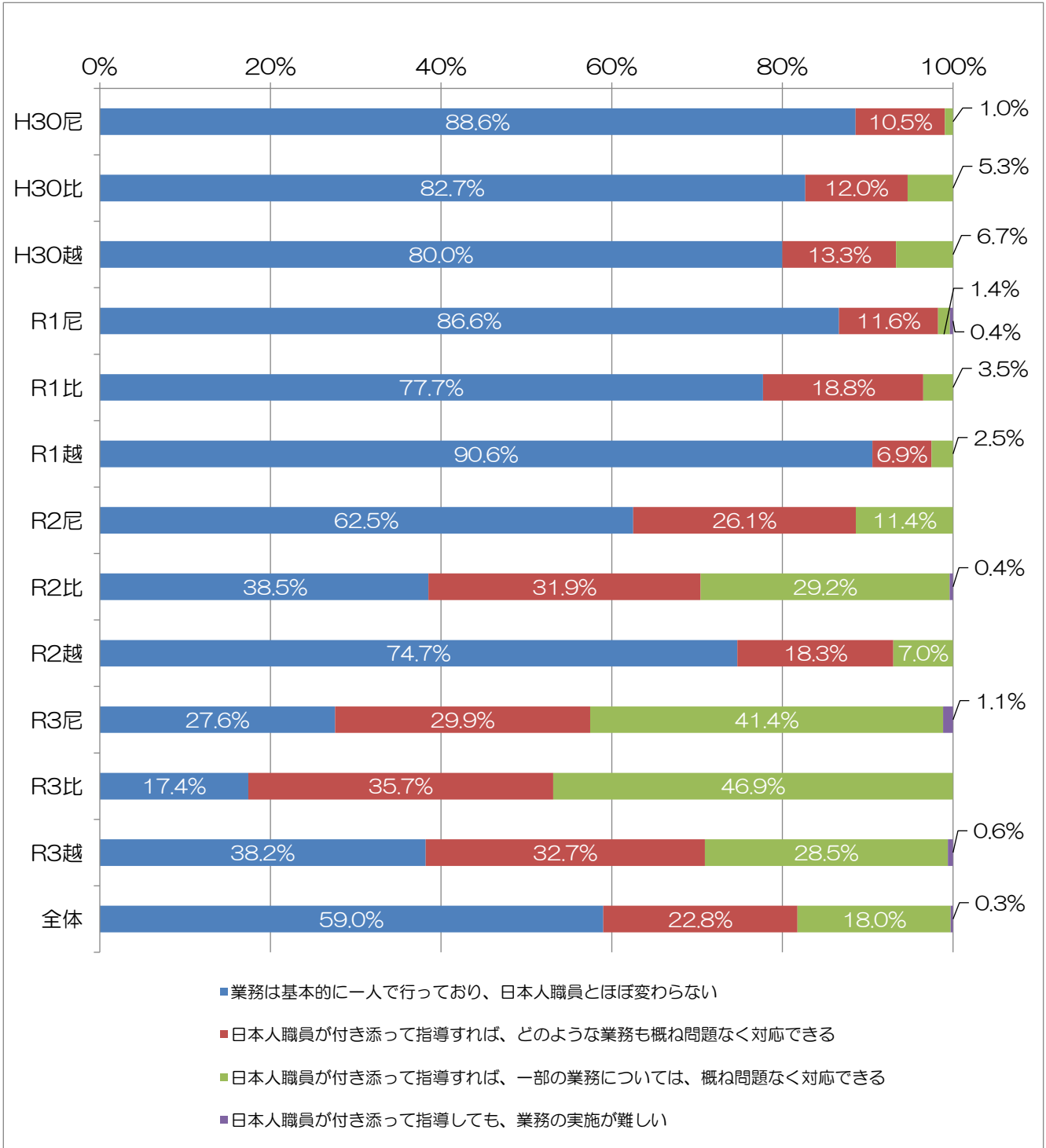
項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
食事 介助	105 人 (100.0%)	75 人 (100.0%)	15 人 (100.0%)	281 人 (98.9%)	229 人 (100.0%)	157 人 (98.7%)	272 人 (100.0%)	254 人 (98.8%)	186 人 (100.0%)	258 人 (98.9%)	219 人 (97.8%)	161 人 (97.6%)	2212 人 (99.1%)
口腔 ケア	105 人 (100.0%)	75 人 (100.0%)	15 人 (100.0%)	282 人 (99.3%)	228 人 (99.6%)	158 人 (99.4%)	271 人 (99.6%)	247 人 (96.1%)	184 人 (98.9%)	251 人 (96.2%)	210 人 (93.8%)	157 人 (95.2%)	2183 人 (97.8%)
排泄 介助	104 人 (99.0%)	74 人 (98.7%)	15 人 (100.0%)	283 人 (99.6%)	229 人 (100.0%)	157 人 (98.7%)	272 人 (100.0%)	255 人 (99.2%)	184 人 (98.9%)	259 人 (99.2%)	222 人 (99.1%)	164 人 (99.4%)	2218 人 (99.4%)
移動 介助	105 人 (100.0%)	75 人 (100.0%)	15 人 (100.0%)	284 人 (100.0%)	229 人 (100.0%)	157 人 (98.7%)	272 人 (100.0%)	256 人 (99.6%)	186 人 (100.0%)	257 人 (98.5%)	221 人 (98.7%)	163 人 (98.8%)	2220 人 (99.5%)
入浴 介助	103 人 (98.1%)	74 人 (98.7%)	15 人 (100.0%)	281 人 (98.9%)	227 人 (99.1%)	153 人 (96.2%)	263 人 (96.7%)	244 人 (94.9%)	183 人 (98.4%)	238 人 (91.2%)	193 人 (86.2%)	154 人 (93.3%)	2128 人 (95.3%)
着脱 介助	105 人 (100.0%)	75 人 (100.0%)	15 人 (100.0%)	283 人 (99.6%)	229 人 (100.0%)	156 人 (98.1%)	270 人 (99.3%)	254 人 (98.8%)	183 人 (98.4%)	258 人 (98.9%)	216 人 (96.4%)	163 人 (98.8%)	2207 人 (98.9%)
シーツ ・環境	104 人 (99.0%)	74 人 (98.7%)	15 人 (100.0%)	276 人 (97.2%)	222 人 (96.9%)	154 人 (96.9%)	255 人 (93.8%)	242 人 (94.2%)	181 人 (97.3%)	250 人 (95.8%)	201 人 (89.7%)	156 人 (94.5%)	2130 人 (95.4%)
与薬	91 人 (86.7%)	68 人 (90.7%)	14 人 (93.3%)	250 人 (88.0%)	180 人 (78.6%)	142 人 (89.3%)	207 人 (76.1%)	171 人 (66.5%)	155 人 (83.3%)	169 人 (64.8%)	140 人 (62.5%)	105 人 (63.6%)	1692 人 (75.8%)
記録 作成	98 人 (93.3%)	67 人 (89.3%)	15 人 (100.0%)	256 人 (90.1%)	206 人 (90.0%)	142 人 (89.3%)	212 人 (77.9%)	166 人 (64.6%)	169 人 (90.9%)	167 人 (64.0%)	125 人 (55.8%)	106 人 (64.2%)	1729 人 (77.5%)
申し 送り	93 人 (88.6%)	65 人 (86.7%)	13 人 (86.7%)	254 人 (89.4%)	188 人 (82.1%)	129 人 (81.1%)	204 人 (75.0%)	148 人 (57.6%)	147 人 (79.0%)	158 人 (60.5%)	106 人 (47.3%)	95 人 (57.6%)	1600 人 (71.7%)
会議 参加	67 人 (63.8%)	52 人 (69.3%)	14 人 (93.3%)	203 人 (71.5%)	158 人 (69.0%)	93 人 (58.5%)	171 人 (62.9%)	136 人 (52.9%)	119 人 (64.0%)	118 人 (45.2%)	103 人 (46.0%)	77 人 (46.7%)	1311 人 (58.7%)
レク 実施	101 人 (96.2%)	55 人 (73.3%)	12 人 (80.0%)	237 人 (83.5%)	185 人 (80.8%)	137 人 (86.2%)	218 人 (80.1%)	176 人 (68.5%)	151 人 (81.2%)	163 人 (62.5%)	137 人 (61.2%)	110 人 (66.7%)	1682 人 (75.4%)
その他 9	2 人 (1.9%)	3 人 (4.0%)	2 人 (13.3%)	19 人 (6.7%)	19 人 (8.3%)	7 人 (4.4%)	15 人 (5.5%)	9 人 (3.5%)	6 人 (3.2%)	1 人 (0.4%)	10 人 (4.5%)	6 人 (3.6%)	99 人 (4.4%)

9 その他の回答内容として、「委員会活動」「家族対応」「ケアプランの作成」等の回答があった。

② 候補者が行っている業務の水準について

「候補者が行っている業務の水準」について質問したところ、「業務は基本的に一人で  
行っており、日本人職員とほぼ変わらない」1317人、「日本人職員が付き添って指導す  
れば、どのような業務も概ね問題なく対応できる」508人、「日本人職員が付き添って指  
導すれば、一部の業務については、概ね問題なく対応できる」401人、「日本人職員が付  
き添って指導しても、業務の実施が難しい」6人という回答があった。(図 2-2)

(図 2-2) 候補者が行っている業務の水準について

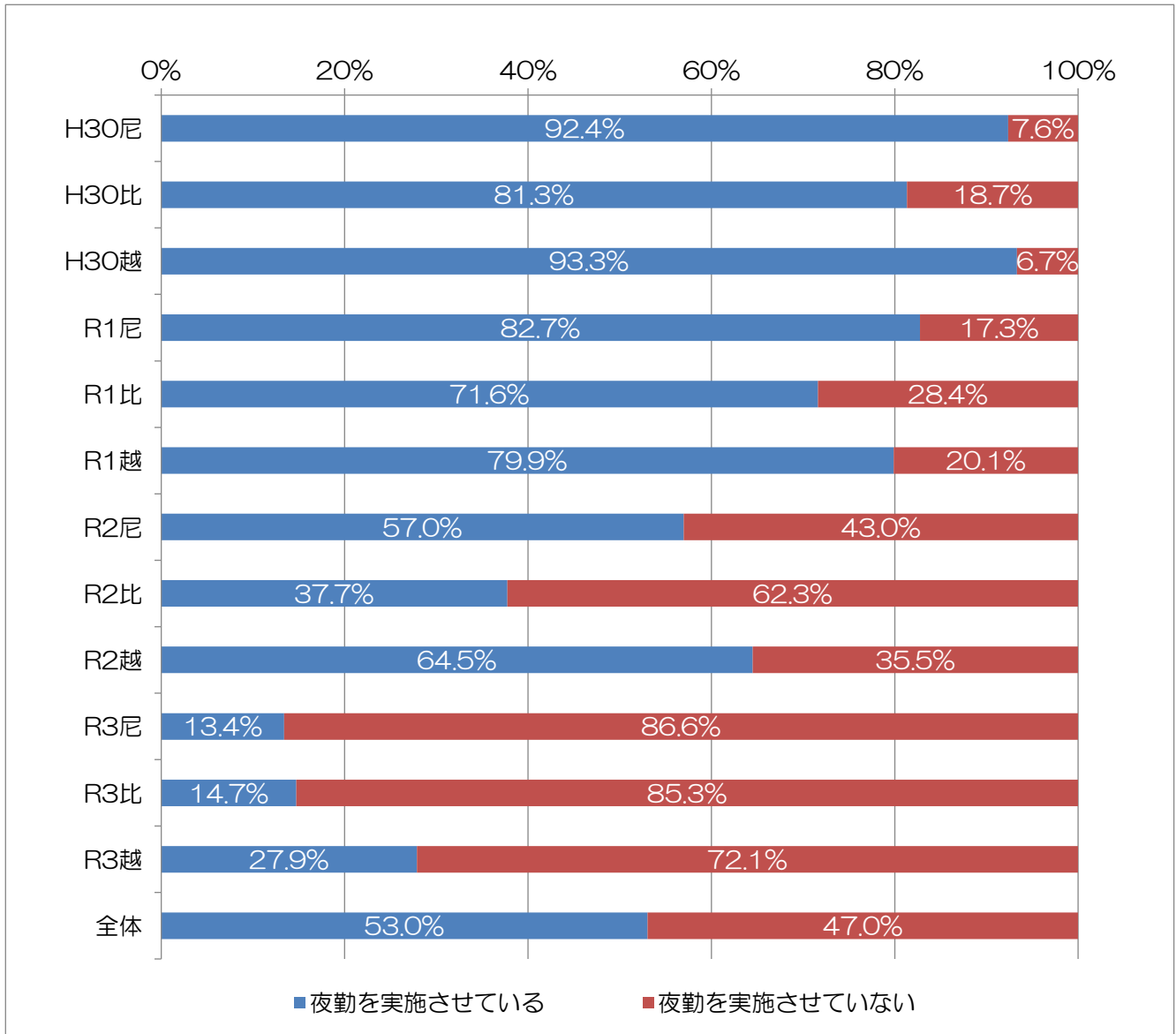


項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
日本人職員と ほぼ変わらない	93 人 (88.6%)	62 人 (82.7%)	12 人 (80.0%)	246 人 (86.6%)	178 人 (77.7%)	144 人 (90.6%)	170 人 (62.5%)	99 人 (38.5%)	139 人 (74.7%)	72 人 (27.6%)	39 人 (17.4%)	63 人 (38.2%)	1317 人 (59.0%)
付き添って指導 すれば、概ね問 題ない	11 人 (10.5%)	9 人 (12.0%)	2 人 (13.3%)	33 人 (11.6%)	43 人 (18.8%)	11 人 (6.9%)	71 人 (26.1%)	82 人 (31.9%)	34 人 (18.3%)	78 人 (29.9%)	80 人 (35.7%)	54 人 (32.7%)	508 人 (22.8%)
付き添って指導 すれば、一部業 務は、概ね問題 ない	1 人 (1.0%)	4 人 (5.3%)	1 人 (6.7%)	4 人 (1.4%)	8 人 (3.5%)	4 人 (2.5%)	31 人 (11.4%)	75 人 (29.2%)	13 人 (7.0%)	108 人 (41.4%)	105 人 (46.9%)	47 人 (28.5%)	401 人 (18.0%)
付き添って指導 しても、実施が 難しい	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	1 人 (0.4%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	1 人 (0.4%)	0 人 (0.0%)	3 人 (1.1%)	0 人 (0.0%)	1 人 (0.6%)	6 人 (0.3%)

③ 候補者の夜勤の実施状況について

「候補者の夜勤の実施状況」について質問したところ、「夜勤を実施させている」1184人、「夜勤を実施させていない」1048人という回答があった。(図 2-3)

(図 2-3) 候補者の夜勤の実施状況について



項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
夜勤を実施させている	97人 (92.4%)	61人 (81.3%)	14人 (93.3%)	235人 (82.7%)	164人 (71.6%)	127人 (79.9%)	155人 (57.0%)	97人 (37.7%)	120人 (64.5%)	35人 (13.4%)	33人 (14.7%)	46人 (27.9%)	1184人 (53.0%)
夜勤を実施させていない	8人 (7.6%)	14人 (18.7%)	1人 (6.7%)	49人 (17.3%)	65人 (28.4%)	32人 (20.1%)	117人 (43.0%)	160人 (62.3%)	66人 (35.5%)	226人 (86.6%)	191人 (85.3%)	119人 (72.1%)	1048人 (47.0%)

### 月間の平均夜勤実施回数

項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
月間回数	4.5回	4.4回	4.7回	4.4回	4.5回	4.1回	4.1回	4.3回	4.3回	4.3回	4.1回	4.0回	4.3回

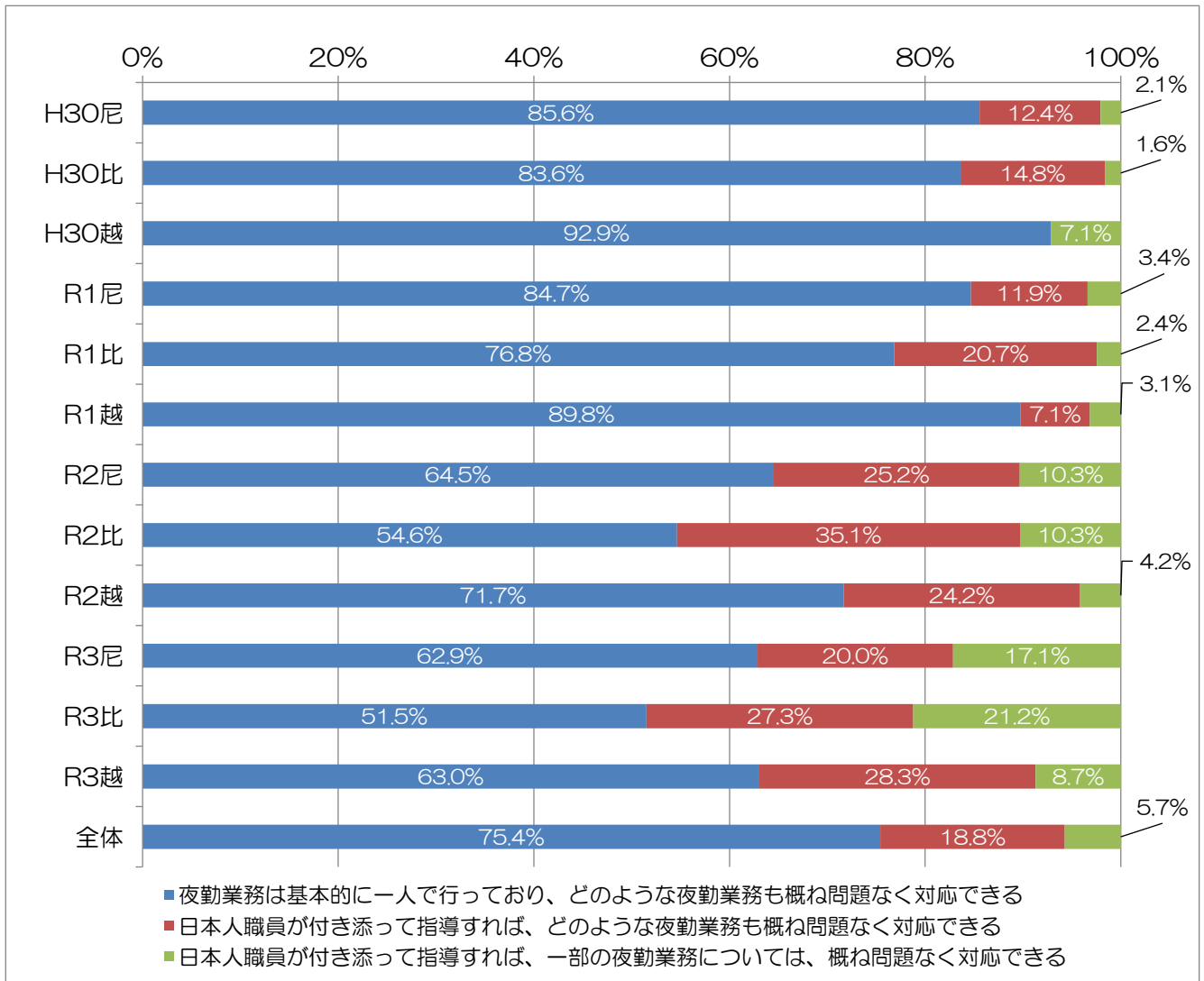
### 配属後、何か月経過後に夜勤を実施しているか

項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
6か月未満	2人	2人	0人	11人	8人	6人	10人	11人	6人	3人	5人	6人	70人
6か月～12か月未満	51人	34人	8人	114人	78人	57人	97人	59人	68人	31人	27人	38人	662人
12か月～18か月未満	29人	16人	3人	77人	45人	38人	48人	26人	38人	1人	1人	2人	324人
18か月～24か月未満	8人	3人	0人	18人	17人	12人	0人	1人	5人	0人	0人	0人	64人
24か月～30か月未満	3人	3人	1人	12人	12人	5人	0人	0人	2人	0人	0人	0人	38人
30か月～36か月未満	0人	0人	1人	2人	2人	9人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	15人
36か月以上	4人	3人	1人	1人	2人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	11人

④ 候補者の夜勤の水準について

「候補者の夜勤の水準」について質問したところ、「夜勤は基本的に一人で行っており、どのような夜勤業務も概ね問題なく対応できる」893人、「日本人職員が付き添って指導すれば、どのような夜勤業務も概ね問題なく対応できる」223人、「日本人職員が付き添って指導すれば、一部の夜勤業務については、概ね問題なく対応できる」68人という回答があった。(図 2-4)

(図 2-4) 候補者の夜勤の水準について

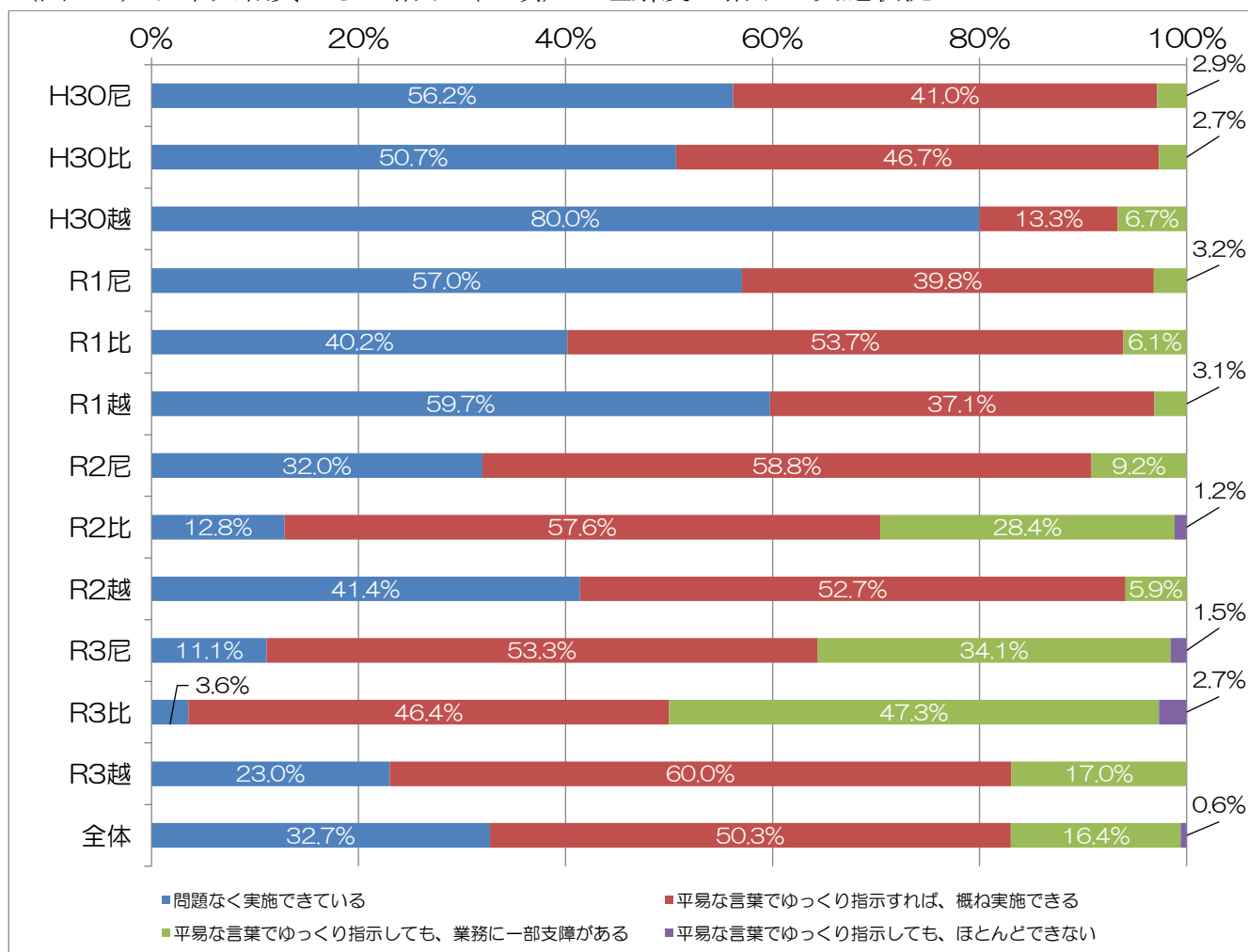


項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
概ね問題ない	83人 (85.6%)	51人 (83.6%)	13人 (92.9%)	199人 (84.7%)	126人 (76.8%)	114人 (89.8%)	100人 (64.5%)	53人 (54.6%)	86人 (71.7%)	22人 (62.9%)	17人 (51.5%)	29人 (63.0%)	893人 (75.4%)
付き添って指導すれば、概ね問題ない	12人 (12.4%)	9人 (14.8%)	0人 (0.0%)	28人 (11.9%)	34人 (20.7%)	9人 (7.1%)	39人 (25.2%)	34人 (35.1%)	29人 (24.2%)	7人 (20.0%)	9人 (27.3%)	13人 (28.3%)	223人 (18.8%)
付き添って指導すれば、一部業務は概ね問題ない	2人 (2.1%)	1人 (1.6%)	1人 (7.1%)	8人 (3.4%)	4人 (2.4%)	4人 (3.1%)	16人 (10.3%)	10人 (10.3%)	5人 (4.2%)	6人 (17.1%)	7人 (21.2%)	4人 (8.7%)	68人 (5.7%)

⑤ 日本人職員からの指示（口頭）の理解度と指示の実施状況について

「日本人職員からの指示（口頭）の理解度と指示の実施状況」について質問したところ、「問題なく実施できている」730人、「日本人職員が平易な言葉でゆっくり話をすれば、概ね実施ができる」1123人、「日本人職員が平易な言葉でゆっくり話をしても、業務に一部支障がある」366人、「平易な言葉でゆっくり指示しても、ほとんどできない」13人という回答があった。（図2-5）

（図2-5）日本人職員からの指示（口頭）の理解度と指示の実施状況について



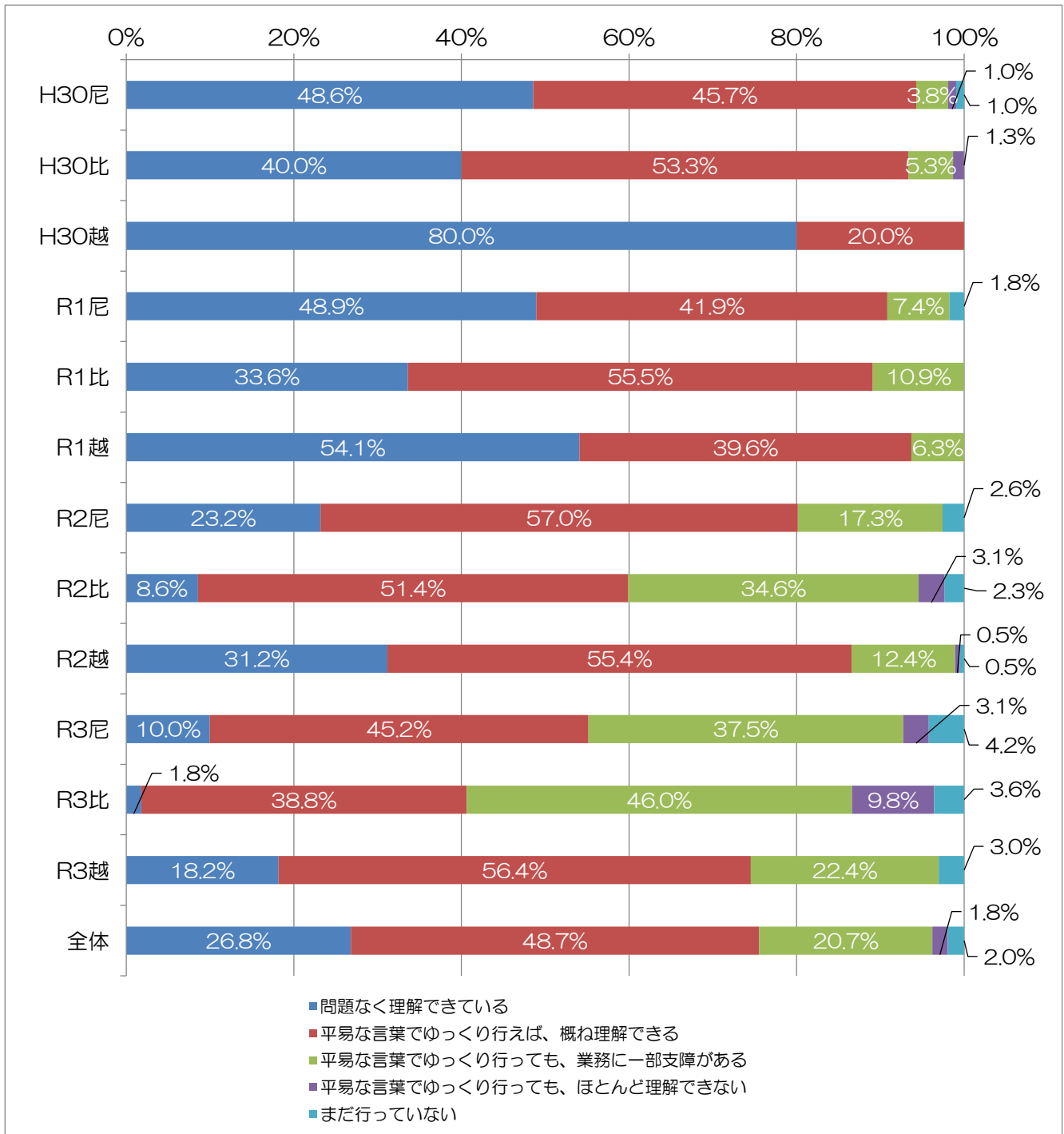
項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
問題なく実施できている	59人 (56.2%)	38人 (50.7%)	12人 (80.0%)	162人 (57.0%)	92人 (40.2%)	95人 (59.7%)	87人 (32.0%)	33人 (12.8%)	77人 (41.4%)	29人 (11.1%)	8人 (3.6%)	38人 (23.0%)	730人 (32.7%)
平易な言葉でゆっくり指示すれば、概ね実施できる	43人 (41.0%)	35人 (46.7%)	2人 (13.3%)	113人 (39.8%)	123人 (53.7%)	59人 (37.1%)	160人 (58.8%)	148人 (57.6%)	98人 (52.7%)	139人 (53.3%)	104人 (46.4%)	99人 (60.0%)	1123人 (50.3%)
平易な言葉でゆっくり指示しても、業務に一部支障がある	3人 (2.9%)	2人 (2.7%)	1人 (6.7%)	9人 (3.2%)	14人 (6.1%)	5人 (3.1%)	25人 (9.2%)	73人 (28.4%)	11人 (5.9%)	89人 (34.1%)	106人 (47.3%)	28人 (17.0%)	366人 (16.4%)
平易な言葉でゆっくり指示しても、ほとんどできない	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	3人 (1.2%)	0人 (0.0%)	4人 (1.5%)	6人 (2.7%)	0人 (0.0%)	13人 (0.6%)



⑥ 引き継ぎ・申し送りの理解状況について

「引き継ぎ・申し送りの理解状況」について質問したところ、「問題なく理解できている」598人、「日本人職員が平易な言葉でゆっくり行えば、概ね理解できる」1088人、「日本人職員が平易な言葉でゆっくり行っても、業務に一部支障がある」461人、「日本人職員が平易な言葉でゆっくり行っても、ほとんど理解できない」41人、「まだ行っていない」44人という回答があった。(図 2-6)

(図 2-6) 引き継ぎ・申し送りの理解状況について



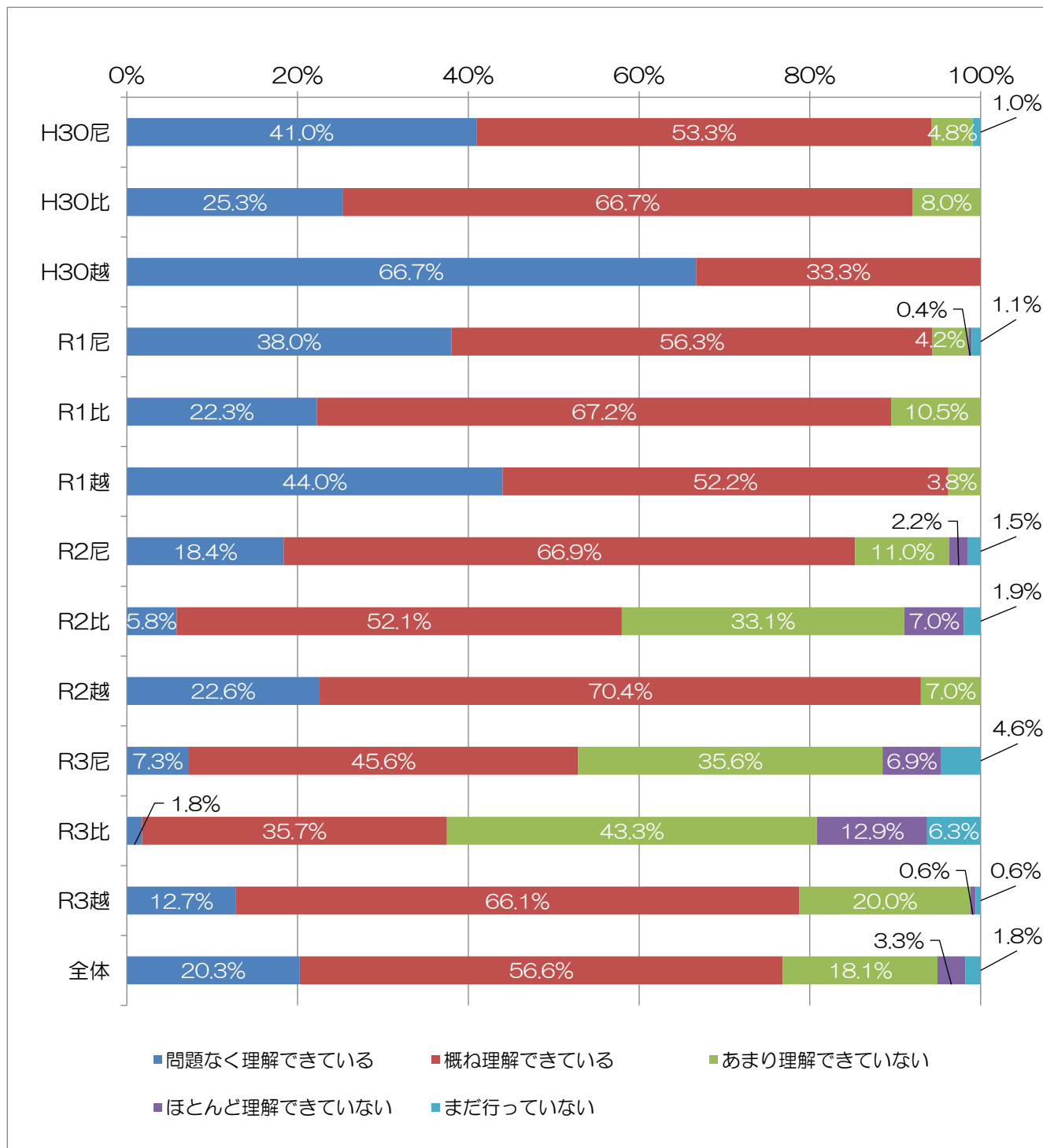
項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
問題なく理解できている	51 人 (48.6%)	30 人 (40.0%)	12 人 (80.0%)	139 人 (48.9%)	77 人 (33.6%)	86 人 (54.1%)	63 人 (23.2%)	22 人 (8.6%)	58 人 (31.2%)	26 人 (10.0%)	4 人 (1.8%)	30 人 (18.2%)	598 人 (26.8%)
平易な言葉でゆっくり行 えば、概ね理解できる	48 人 (45.7%)	40 人 (53.3%)	3 人 (20.0%)	119 人 (41.9%)	127 人 (55.5%)	63 人 (39.6%)	155 人 (57.0%)	132 人 (51.4%)	103 人 (55.4%)	118 人 (45.2%)	87 人 (38.8%)	93 人 (56.4%)	1088 人 (48.7%)
平易な言葉でゆっくり行 っても、業務に一部支障 がある	4 人 (3.8%)	4 人 (5.3%)	0 人 (0.0%)	21 人 (7.4%)	25 人 (10.9%)	10 人 (6.3%)	47 人 (17.3%)	89 人 (34.6%)	23 人 (12.4%)	98 人 (37.5%)	103 人 (46.0%)	37 人 (22.4%)	461 人 (20.7%)
平易な言葉でゆっくり行 っても、ほとんど理解で きない	1 人 (1.0%)	1 人 (1.3%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	8 人 (3.1%)	1 人 (0.5%)	8 人 (3.1%)	22 人 (9.8%)	0 人 (0.0%)	41 人 (1.8%)
まだ行っていない	1 人 (1.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	5 人 (1.8%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	7 人 (2.6%)	6 人 (2.3%)	1 人 (0.5%)	11 人 (4.2%)	8 人 (3.6%)	5 人 (3.0%)	44 人 (2.0%)

⑦ 業務マニュアル等の記載内容に関する理解状況について

「業務マニュアル等の記載内容に関する理解」について質問したところ、「問題なく理解できている」452人、「概ね理解できている」1263人、「あまり理解できていない」404人、「ほとんど理解できていない」73人、「まだ行っていない」40人という回答があった。

(図 2-7)

(図 2-7) 業務マニュアル等の記載内容に関する理解状況について

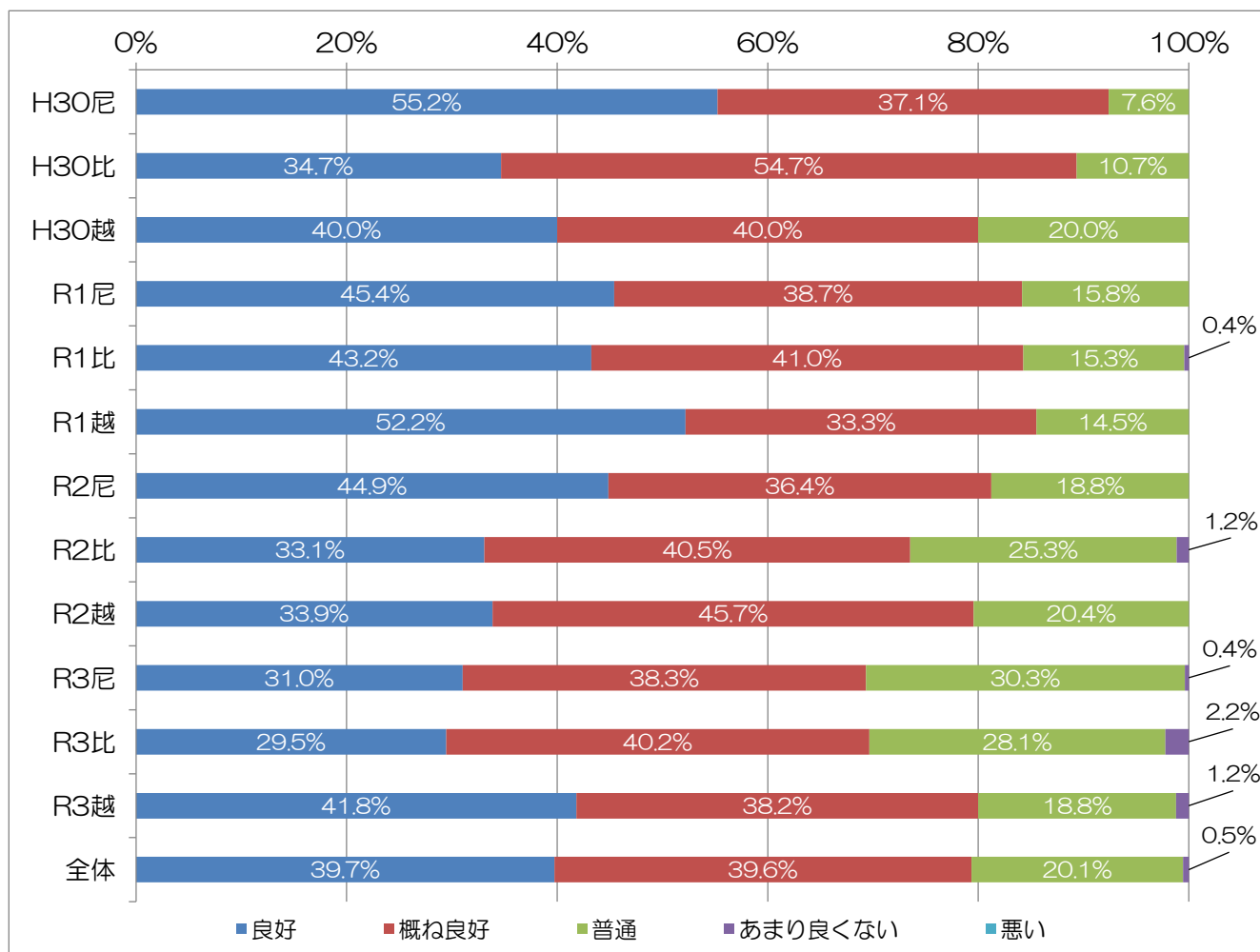


項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
問題なく理解 できている	43 人 (41.0%)	19 人 (25.3%)	10 人 (66.7%)	108 人 (38.0%)	51 人 (22.3%)	70 人 (44.0%)	50 人 (18.4%)	15 人 (5.8%)	42 人 (22.6%)	19 人 (7.3%)	4 人 (1.8%)	21 人 (12.7%)	452 人 (20.3%)
概ね理解でき ている	56 人 (53.3%)	50 人 (66.7%)	5 人 (33.3%)	160 人 (56.3%)	154 人 (67.2%)	83 人 (52.2%)	182 人 (66.9%)	134 人 (52.1%)	131 人 (70.4%)	119 人 (45.6%)	80 人 (35.7%)	109 人 (66.1%)	1263 人 (56.6%)
あまり理解で きていない	5 人 (4.8%)	6 人 (8.0%)	0 人 (0.0%)	12 人 (4.2%)	24 人 (10.5%)	6 人 (3.8%)	30 人 (11.0%)	85 人 (33.1%)	13 人 (7.0%)	93 人 (35.6%)	97 人 (43.3%)	33 人 (20.0%)	404 人 (18.1%)
ほとんど理解 できていない	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	1 人 (0.4%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	6 人 (2.2%)	18 人 (7.0%)	0 人 (0.0%)	18 人 (6.9%)	29 人 (12.9%)	1 人 (0.6%)	73 人 (3.3%)
まだ行ってい ない	1 人 (1.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	3 人 (1.1%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	4 人 (1.5%)	5 人 (1.9%)	0 人 (0.0%)	12 人 (4.6%)	14 人 (6.3%)	1 人 (0.6%)	40 人 (1.8%)

⑧ 候補者を受け入れたことに対する利用者や家族からの反応について

「候補者を受け入れたことに対する利用者や家族からの反応」について質問したところ、「良好」887人、「概ね良好」884人、「普通」449人、「あまり良くない」12人という回答があった。(図2-8)

(図2-8) 候補者を受け入れたことに対する利用者や家族からの反応について

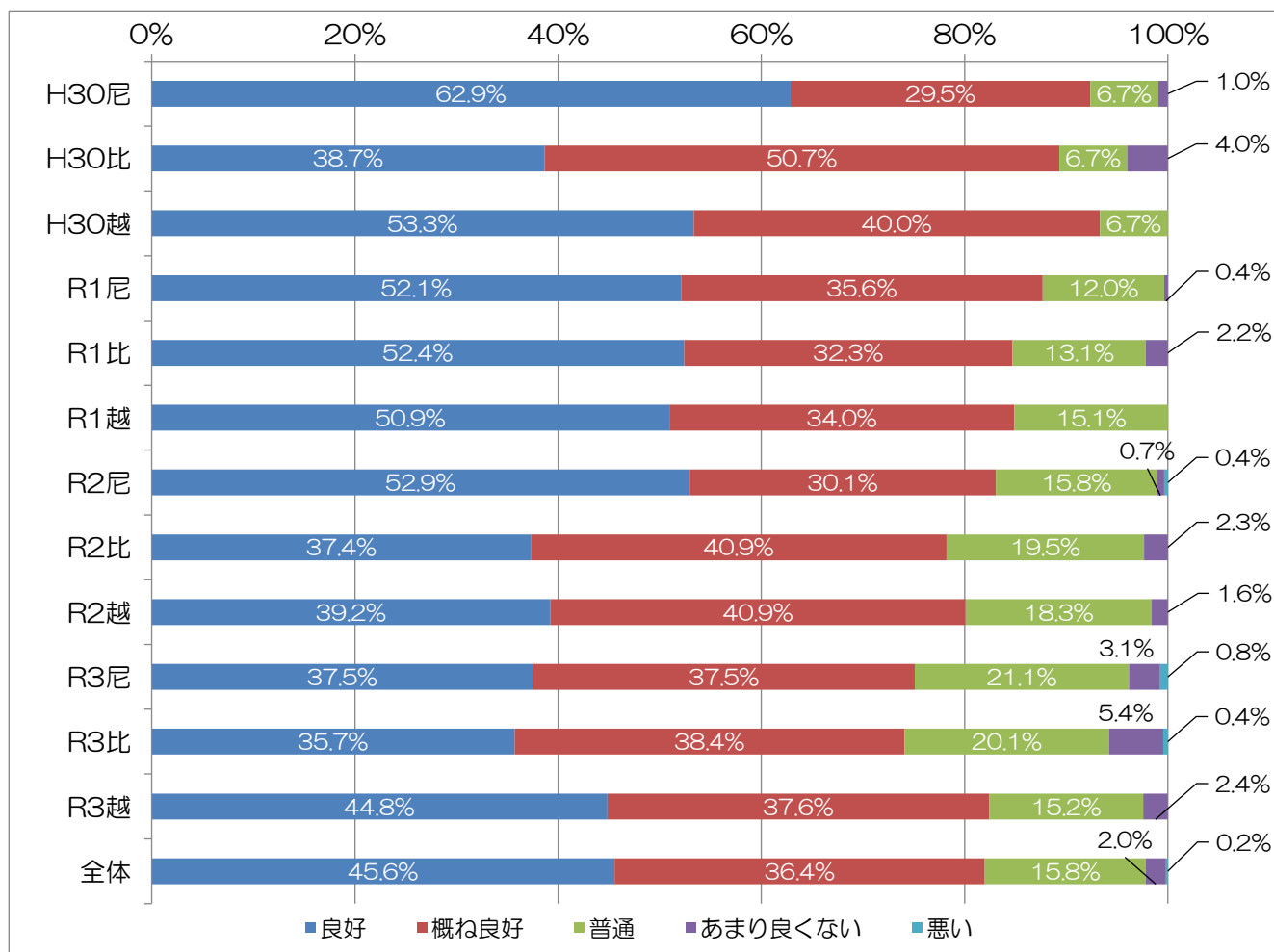


項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
良好	58人 (55.2%)	26人 (34.7%)	6人 (40.0%)	129人 (45.4%)	99人 (43.2%)	83人 (52.2%)	122人 (44.9%)	85人 (33.1%)	63人 (33.9%)	81人 (31.0%)	66人 (29.5%)	69人 (41.8%)	887人 (39.7%)
概ね良好	39人 (37.1%)	41人 (54.7%)	6人 (40.0%)	110人 (38.7%)	94人 (41.0%)	53人 (33.3%)	99人 (36.4%)	104人 (40.5%)	85人 (45.7%)	100人 (38.3%)	90人 (40.2%)	63人 (38.2%)	884人 (39.6%)
普通	8人 (7.6%)	8人 (10.7%)	3人 (20.0%)	45人 (15.8%)	35人 (15.3%)	23人 (14.5%)	51人 (18.8%)	65人 (25.3%)	38人 (20.4%)	79人 (30.3%)	63人 (28.1%)	31人 (18.8%)	449人 (20.1%)
あまり良くない	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (0.4%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	3人 (1.2%)	0人 (0.0%)	1人 (0.4%)	5人 (2.2%)	2人 (1.2%)	12人 (0.5%)
悪い	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)

⑨ 候補者を受け入れたことに対する所属部門の職員からの反応について

「候補者を受け入れたことに対する所属部門の職員からの反応」について質問したところ、「良好」1017人、「概ね良好」813人、「普通」353人、「あまり良くない」45人、「悪い」4人という回答があった。(図2-9)

(図2-9) 候補者を受け入れたことに対する所属部門の職員からの反応について



項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
良好	66人 (62.9%)	29人 (38.7%)	8人 (53.3%)	148人 (52.1%)	120人 (52.4%)	81人 (50.9%)	144人 (52.9%)	96人 (37.4%)	73人 (39.2%)	98人 (37.5%)	80人 (35.7%)	74人 (44.8%)	1017人 (45.6%)
概ね良好	31人 (29.5%)	38人 (50.7%)	6人 (40.0%)	101人 (35.6%)	74人 (32.3%)	54人 (34.0%)	82人 (30.1%)	105人 (40.9%)	76人 (40.9%)	98人 (37.5%)	86人 (38.4%)	62人 (37.6%)	813人 (36.4%)
普通	7人 (6.7%)	5人 (6.7%)	1人 (6.7%)	34人 (12.0%)	30人 (13.1%)	24人 (15.1%)	43人 (15.8%)	50人 (19.5%)	34人 (18.3%)	55人 (21.1%)	45人 (20.1%)	25人 (15.2%)	353人 (15.8%)
あまり良くない	1人 (1.0%)	3人 (4.0%)	0人 (0.0%)	1人 (0.4%)	5人 (2.2%)	0人 (0.0%)	2人 (0.7%)	6人 (2.3%)	3人 (1.6%)	8人 (3.1%)	12人 (5.4%)	4人 (2.4%)	45人 (2.0%)
悪い	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (0.4%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	2人 (0.8%)	1人 (0.4%)	0人 (0.0%)	4人 (0.2%)

(2) 研修について

① 就労時間内・外の学習時間の内訳について<sup>10</sup>

「候補者の1週間あたりの学習時間」について質問したところ、「就労時間内の1週間の平均学習時間」は6.3時間、「就労時間外の1週間の平均学習時間」は2.1時間、「就労時間内・外合計の平均学習時間」は8.4時間であった。なお、就労時間外の学習時間については、自宅や寮での自習等は除く。

ア. 施設内における就労時間内 1週間あたりの平均学習回数、平均学習時間

項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体 <sup>11</sup>
候補者数 (人)	105	75	15	284	229	159	272	257	186	261	224	165	2232
週当たり平均学習回数	1.0	1.4	0.9	1.6	1.8	1.8	1.8	1.8	2.3	1.6	2.1	2.3	1.8
週当たり平均学習時間	3.4	4.7	2.2	4.5	5.4	11.3	4.5	4.7	14.3	4.2	6.1	8.8	6.3

イ. 施設内における就労時間外 1週間あたりの平均学習回数、平均学習時間

項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
候補者数 (人)	105	75	15	284	229	159	272	257	186	261	224	165	2232
週当たり平均学習回数	1.1	1.2	0.7	1.4	1.1	0.6	1.4	1.0	0.7	1.2	1.1	0.8	1.1
週当たり平均学習時間	2.0	2.7	0.9	2.5	2.1	1.6	2.4	1.8	1.6	2.4	2.0	1.6	2.1

ウ. 施設内における就労時間合計 1週間あたりの平均学習回数、平均学習時間 (ア+イ)

項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
候補者数 (人)	105	75	15	284	229	159	272	257	186	261	224	165	2232
週当たり平均学習回数	2.1	2.7	1.5	3.0	2.9	2.4	3.2	2.8	3.0	2.8	3.2	3.1	2.9
週当たり平均学習時間	5.4	7.4	3.1	7.0	7.5	12.9	6.9	6.5	15.9	6.6	8.1	10.4	8.4

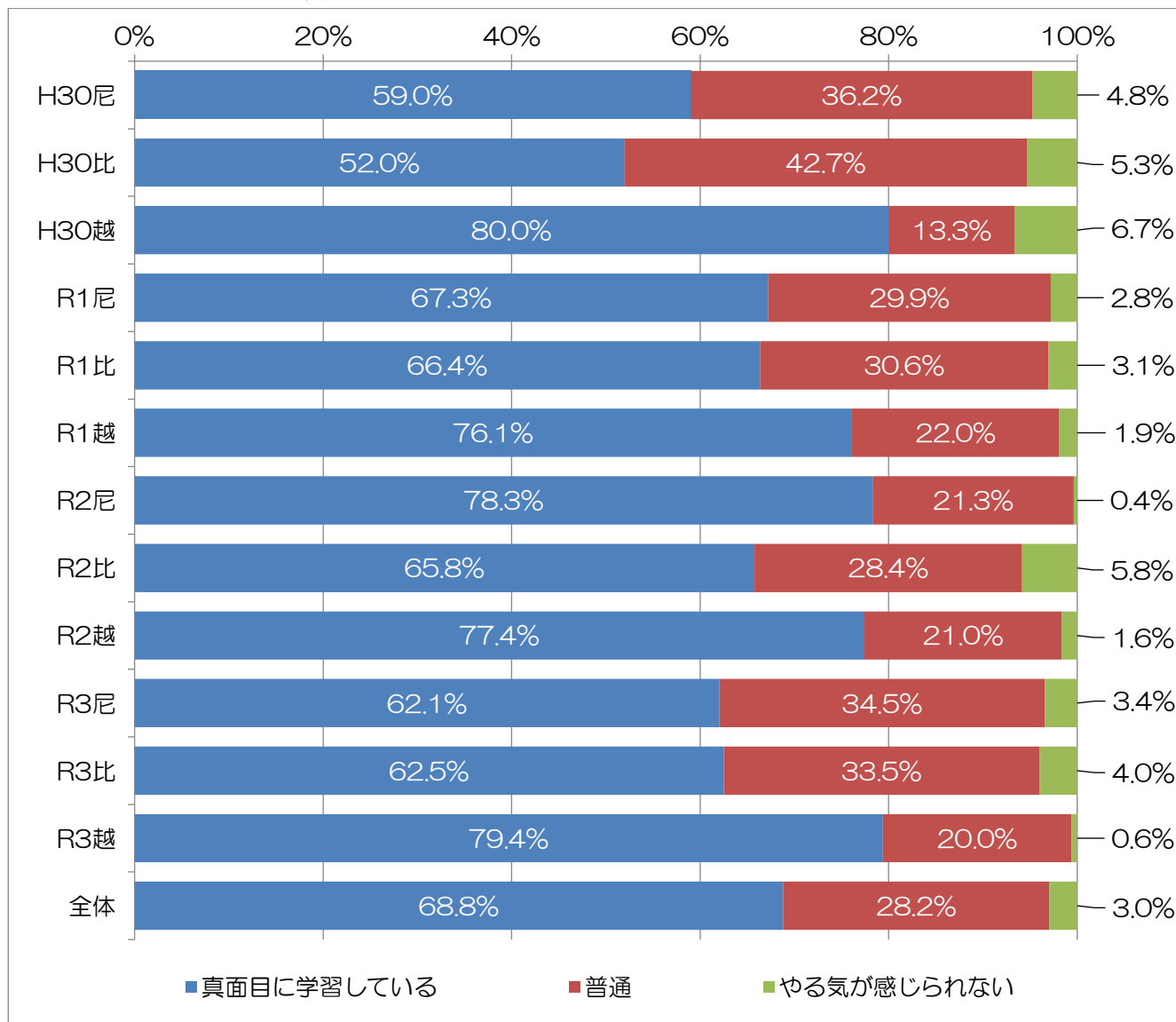
<sup>10</sup> 施設内における就労時間内・外のそれぞれの学習時間を、各年度の候補者ごとに平均している。

<sup>11</sup> 「全体」の数値は候補者全数を母数に学習回数・学習時間の総合計から算出している為、年度ごとの平均値から全体の平均を算出した際と数値が異なり得る。

② 候補者の学習態度について

「候補者の学習態度」について質問したところ、「真面目に学習している」1536人、「普通」630人、「やる気が感じられない」66人という回答があった。(図 2-10)

(図 2-10) 候補者の学習態度について



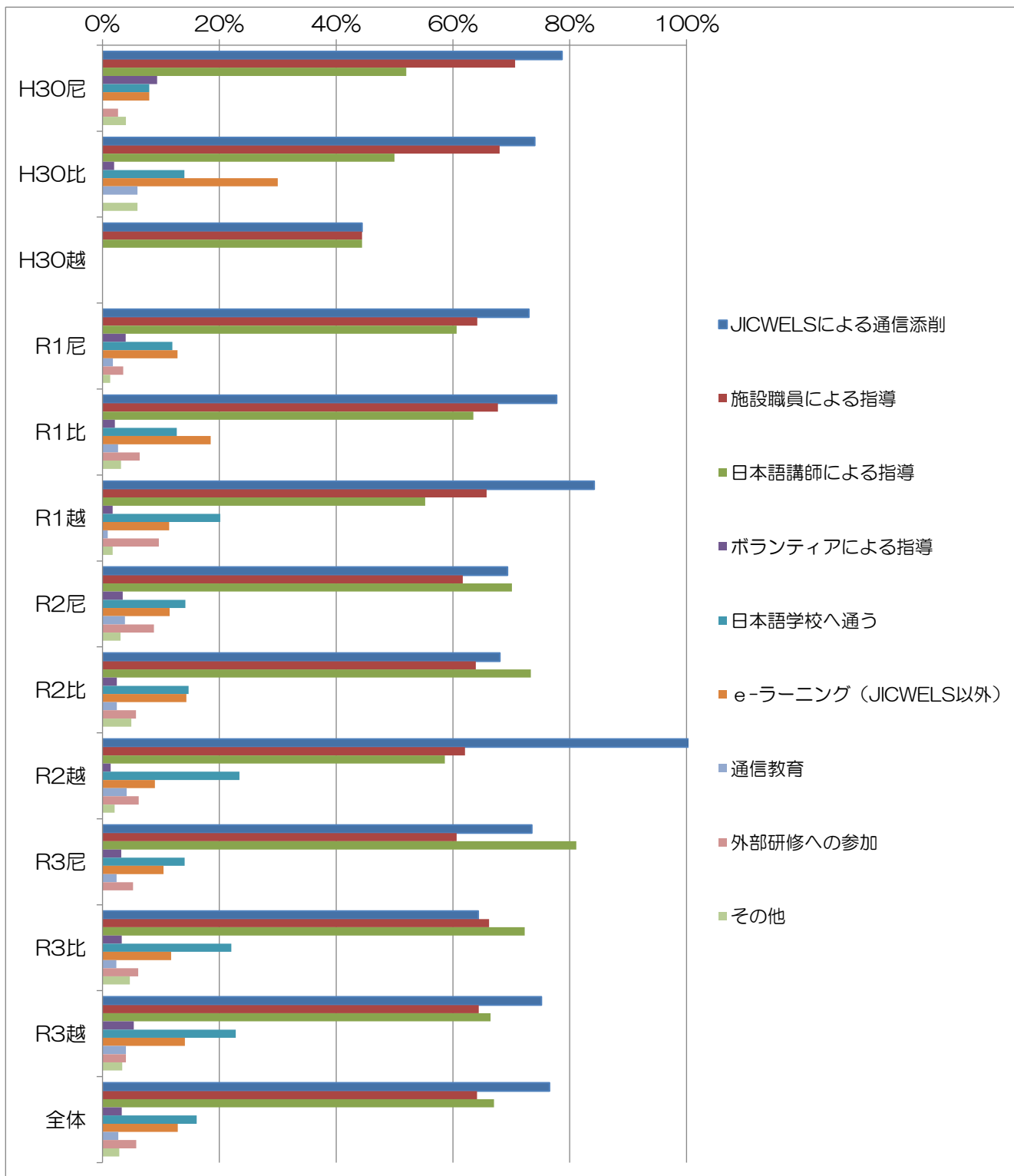
項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
真面目に学習している	62人 (59.0%)	39人 (52.0%)	12人 (80.0%)	191人 (67.3%)	152人 (66.4%)	121人 (76.1%)	213人 (78.3%)	169人 (65.8%)	144人 (77.4%)	162人 (62.1%)	140人 (62.5%)	131人 (79.4%)	1536人 (68.8%)
普通	38人 (36.2%)	32人 (42.7%)	2人 (13.3%)	85人 (29.9%)	70人 (30.6%)	35人 (22.0%)	58人 (21.3%)	73人 (28.4%)	39人 (21.0%)	90人 (34.5%)	75人 (33.5%)	33人 (20.0%)	630人 (28.2%)
やる気が感じられない	5人 (4.8%)	4人 (5.3%)	1人 (6.7%)	8人 (2.8%)	7人 (3.1%)	3人 (1.9%)	1人 (0.4%)	15人 (5.8%)	3人 (1.6%)	9人 (3.4%)	9人 (4.0%)	1人 (0.6%)	66人 (3.0%)



(3) 日本語学習の方法について

「日本語学習の方法」について質問したところ、「JICWELSによる通信添削」という回答が1473人と最も多く、次いで「日本語講師による指導」1290人、「施設職員による指導」1234人という回答があった。(図2-11)

(図2-11) 日本語学習の方法について(複数回答)



項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体 <sup>12</sup>
JICWELS による通信 添削	59 人 (78.7%)	37 人 (74.0%)	4 人 (44.4%)	165 人 (73.0%)	147 人 (77.8%)	96 人 (84.2%)	181 人 (69.3%)	166 人 (68.0%)	186 人 (128.3%)	183 人 (73.5%)	137 人 (64.3%)	112 人 (75.2%)	1473 人 (76.6%)
施設職員に よる指導	53 人 (70.7%)	34 人 (68.0%)	4 人 (44.4%)	145 人 (64.2%)	128 人 (67.7%)	75 人 (65.8%)	161 人 (61.7%)	156 人 (63.9%)	90 人 (62.1%)	151 人 (60.6%)	141 人 (66.2%)	96 人 (64.4%)	1234 人 (64.1%)
日本語講師 による指導	39 人 (52.0%)	25 人 (50.0%)	4 人 (44.4%)	137 人 (60.6%)	120 人 (63.5%)	63 人 (55.3%)	183 人 (70.1%)	179 人 (73.4%)	85 人 (58.6%)	202 人 (81.1%)	154 人 (72.3%)	99 人 (66.4%)	1290 人 (67.0%)
ボランティ アによる指 導	7 人 (9.3%)	1 人 (2.0%)	0 人 (0.0%)	9 人 (4.0%)	4 人 (2.1%)	2 人 (1.8%)	9 人 (3.4%)	6 人 (2.5%)	2 人 (1.4%)	8 人 (3.2%)	7 人 (3.3%)	8 人 (5.4%)	63 人 (3.3%)
日本語学校 へ通う	6 人 (8.0%)	7 人 (14.0%)	0 人 (0.0%)	27 人 (11.9%)	24 人 (12.7%)	23 人 (20.2%)	37 人 (14.2%)	36 人 (14.8%)	34 人 (23.4%)	35 人 (14.1%)	47 人 (22.1%)	34 人 (22.8%)	310 人 (16.1%)
e-ラーニング (JICWELS 以外)	6 人 (8.0%)	15 人 (30.0%)	0 人 (0.0%)	29 人 (12.8%)	35 人 (18.5%)	13 人 (11.4%)	30 人 (11.5%)	35 人 (14.3%)	13 人 (9.0%)	26 人 (10.4%)	25 人 (11.7%)	21 人 (14.1%)	248 人 (12.9%)
通信教育	0 人 (0.0%)	3 人 (6.0%)	0 人 (0.0%)	4 人 (1.8%)	5 人 (2.6%)	1 人 (0.9%)	10 人 (3.8%)	6 人 (2.5%)	6 人 (4.1%)	6 人 (2.4%)	5 人 (2.3%)	6 人 (4.0%)	52 人 (2.7%)
外部研修へ の参加	2 人 (2.7%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	8 人 (3.5%)	12 人 (6.3%)	11 人 (9.6%)	23 人 (8.8%)	14 人 (5.7%)	9 人 (6.2%)	13 人 (5.2%)	13 人 (6.1%)	6 人 (4.0%)	111 人 (5.8%)
その他 <sup>13</sup>	3 人 (4.0%)	3 人 (6.0%)	0 人 (0.0%)	3 人 (1.3%)	6 人 (3.2%)	2 人 (1.8%)	8 人 (3.1%)	12 人 (4.9%)	3 人 (2.1%)	0 人 (0.0%)	10 人 (4.7%)	5 人 (3.4%)	55 人 (2.9%)

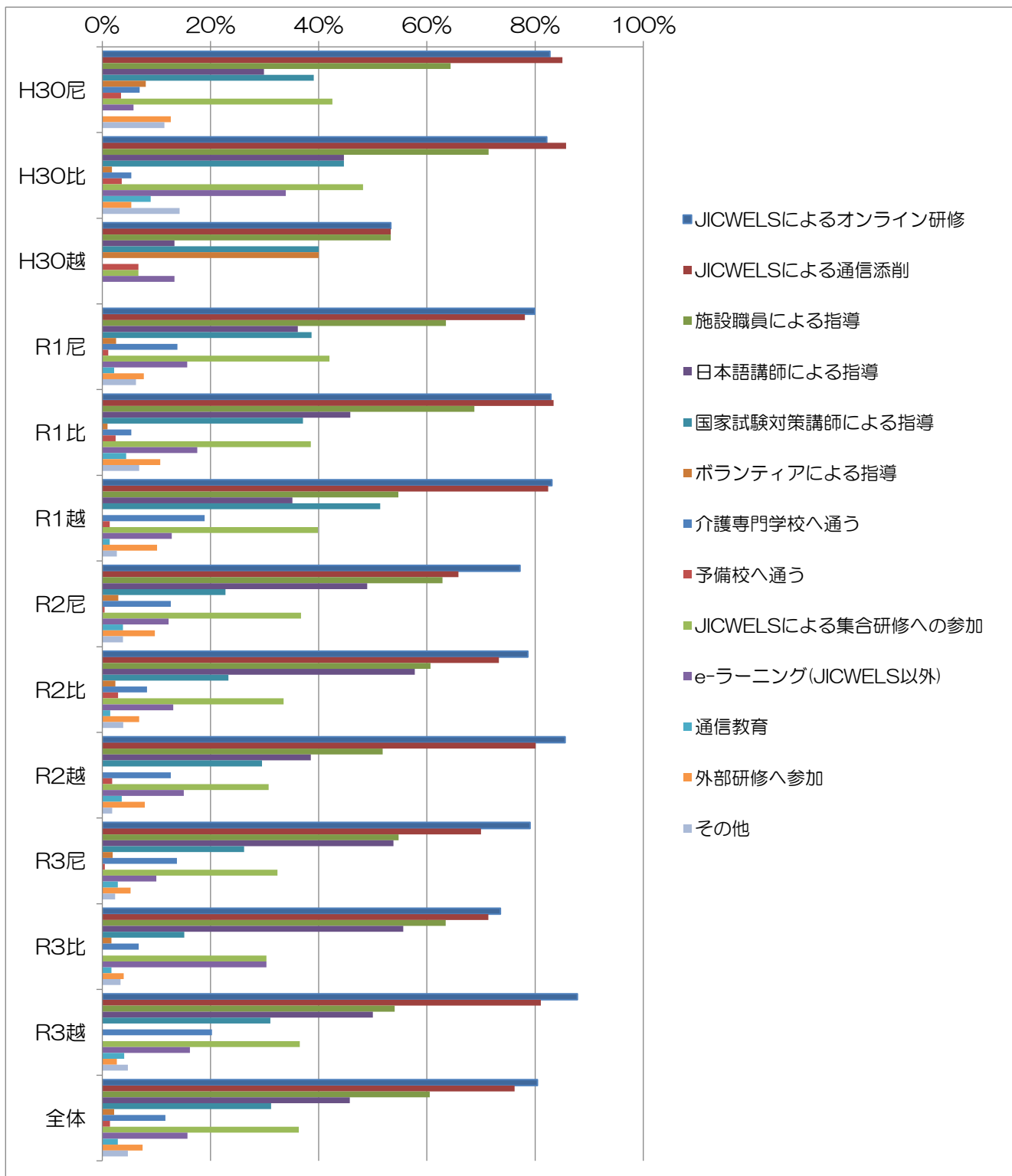
<sup>12</sup> 母数は、施設の指導により、または一部施設指導一部自己学習により当該学習を行っている候補者数。

<sup>13</sup> その他として「法人本部職員による講義」「振り返り日誌の記入」「EPA 候補者の友人とオンラインで繋いで勉強」等の回答があった。

(4) 国家試験対策学習の方法について

「国家試験対策学習の方法」について質問したところ、「JICWELS によるオンライン研修」という回答が 1552 人と最も多く、次いで「JICWELS による通信添削」1471 人、「施設職員による指導」1168 人という回答があった。(図 2-12)

(図 2-12) 国家試験対策学習の方法について (複数回答)



項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体 14
JICWELS に よるオンラ イン研修	72 人 (82.8%)	46 人 (82.1%)	8 人 (53.3%)	219 人 (79.9%)	170 人 (82.9%)	123 人 (83.1%)	183 人 (77.2%)	162 人 (78.6%)	142 人 (85.5%)	166 人 (79.0%)	131 人 (73.6%)	130 人 (87.8%)	1552 人 (80.4%)
JICWELS によ る通信添削	74 人 (85.1%)	48 人 (85.7%)	8 人 (53.3%)	214 人 (78.1%)	171 人 (83.4%)	122 人 (82.4%)	156 人 (65.8%)	151 人 (73.3%)	133 人 (80.1%)	147 人 (70.0%)	127 人 (71.3%)	120 人 (81.1%)	1471 人 (76.2%)
施設職員に よる指導	56 人 (64.4%)	40 人 (71.4%)	8 人 (53.3%)	174 人 (63.5%)	141 人 (68.8%)	81 人 (54.7%)	149 人 (62.9%)	125 人 (60.7%)	86 人 (51.8%)	115 人 (54.8%)	113 人 (63.5%)	80 人 (54.1%)	1168 人 (60.5%)
日本語講師 による指導	26 人 (29.9%)	25 人 (44.6%)	2 人 (13.3%)	99 人 (36.1%)	94 人 (45.9%)	52 人 (35.1%)	116 人 (48.9%)	119 人 (57.8%)	64 人 (38.6%)	113 人 (53.8%)	99 人 (55.6%)	74 人 (50.0%)	883 人 (45.8%)
国家試験対 策講師によ る指導	34 人 (39.1%)	25 人 (44.6%)	6 人 (40.0%)	106 人 (38.7%)	76 人 (37.1%)	76 人 (51.4%)	54 人 (22.8%)	48 人 (23.3%)	49 人 (29.5%)	55 人 (26.2%)	27 人 (15.2%)	46 人 (31.1%)	602 人 (31.2%)
ボランティアに よる指導	7 人 (8.0%)	1 人 (1.8%)	6 人 (40.0%)	7 人 (2.6%)	2 人 (1.0%)	0 人 (0.0%)	7 人 (3.0%)	5 人 (2.4%)	0 人 (0.0%)	4 人 (1.9%)	3 人 (1.7%)	0 人 (0.0%)	42 人 (2.2%)
介護専門学 校へ通う	6 人 (6.9%)	3 人 (5.4%)	0 人 (0.0%)	38 人 (13.9%)	11 人 (5.4%)	28 人 (18.9%)	30 人 (12.7%)	17 人 (8.3%)	21 人 (12.7%)	29 人 (13.8%)	12 人 (6.7%)	30 人 (20.3%)	225 人 (11.7%)
予備校へ通 う	3 人 (3.4%)	2 人 (3.6%)	1 人 (6.7%)	3 人 (1.1%)	5 人 (2.4%)	2 人 (1.4%)	1 人 (0.4%)	6 人 (2.9%)	3 人 (1.8%)	1 人 (0.5%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	27 人 (1.4%)
JICWELS に よる集合研 修への参加	37 人 (42.5%)	27 人 (48.2%)	1 人 (6.7%)	115 人 (42.0%)	79 人 (38.5%)	59 人 (39.9%)	87 人 (36.7%)	69 人 (33.5%)	51 人 (30.7%)	68 人 (32.4%)	54 人 (30.3%)	54 人 (36.5%)	701 人 (36.3%)
e-ラーニング (JICWELS 以外)	5 人 (5.7%)	19 人 (33.9%)	2 人 (13.3%)	43 人 (15.7%)	36 人 (17.6%)	19 人 (12.8%)	29 人 (12.2%)	27 人 (13.1%)	25 人 (15.1%)	21 人 (10.0%)	54 人 (30.3%)	24 人 (16.2%)	304 人 (15.8%)
通信教育	0 人 (0.0%)	5 人 (8.9%)	0 人 (0.0%)	6 人 (2.2%)	9 人 (4.4%)	2 人 (1.4%)	9 人 (3.8%)	3 人 (1.5%)	6 人 (3.6%)	6 人 (2.9%)	3 人 (1.7%)	6 人 (4.1%)	55 人 (2.8%)
外部研修へ 参加	11 人 (12.6%)	3 人 (5.4%)	0 人 (0.0%)	21 人 (7.7%)	22 人 (10.7%)	15 人 (10.1%)	23 人 (9.7%)	14 人 (6.8%)	13 人 (7.8%)	11 人 (5.2%)	7 人 (3.9%)	4 人 (2.7%)	144 人 (7.5%)
その他 <sup>15</sup>	10 人 (11.5%)	8 人 (14.3%)	0 人 (0.0%)	17 人 (6.2%)	14 人 (6.8%)	4 人 (2.7%)	9 人 (3.8%)	8 人 (3.9%)	3 人 (1.8%)	5 人 (2.4%)	6 人 (3.4%)	7 人 (4.7%)	91 人 (4.7%)

<sup>14</sup> 母数は、施設の指導により、または一部施設指導一部自己学習により当該学習を行っている候補者数。

<sup>15</sup> その他として「国家試験対策ビデオを購入して視聴」「法人内の国家試験対策講義への参加」「EPA 候補者の友人とオンラインで繋いで勉強」等の回答があった。

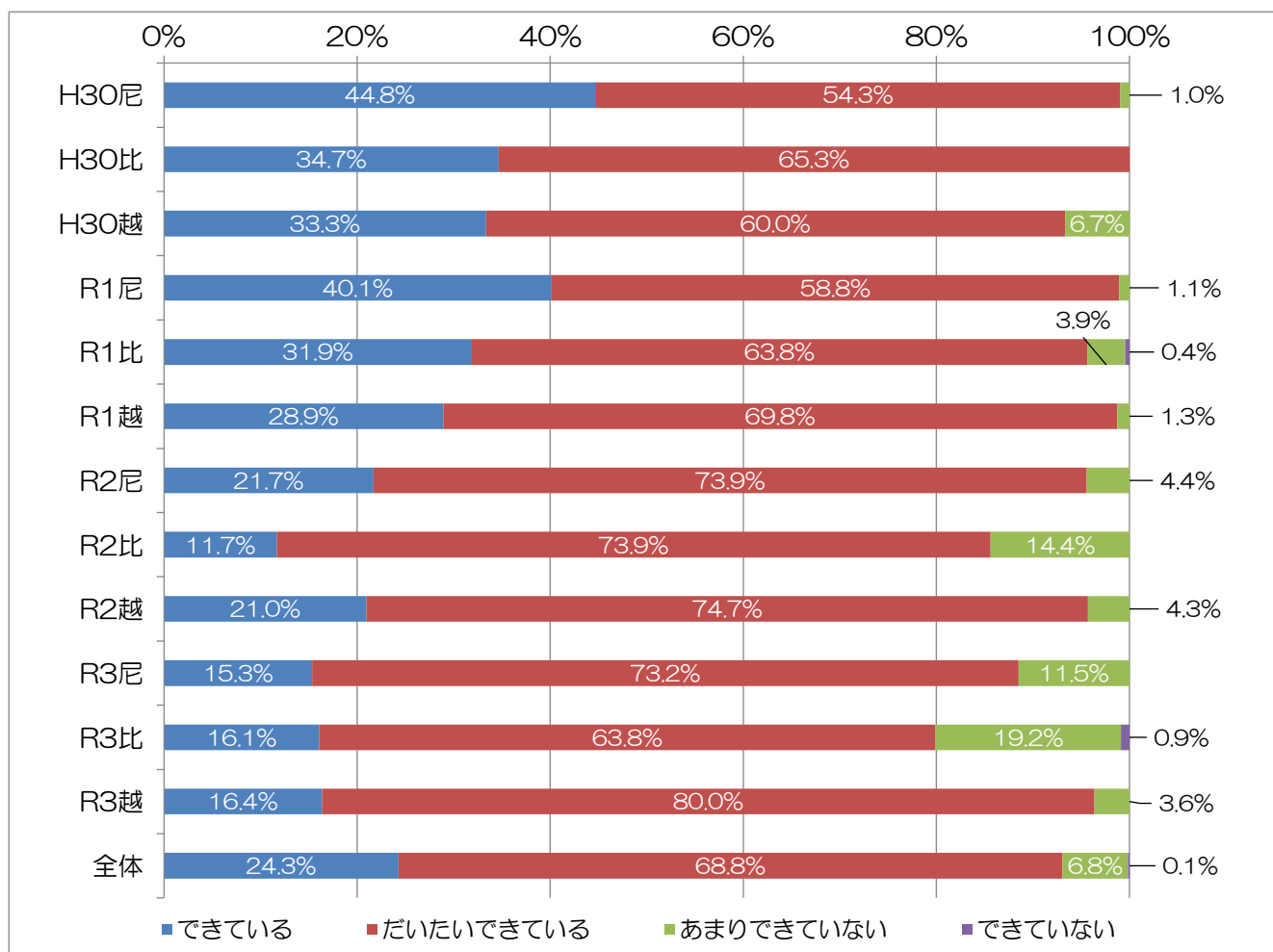
### 3. 介護福祉士候補者への質問

#### (1) 就労研修について

##### ① 利用者、日本人スタッフ等との日本語によるコミュニケーションについて

「利用者、日本人スタッフ等との日本語によるコミュニケーション」について質問したところ、「できている」542人、「だいたいできている」1535人、「あまりできていない」152人、「できていない」3人という回答があった。(図3-1)

(図3-1) 利用者、日本人スタッフ等との日本語によるコミュニケーションについて

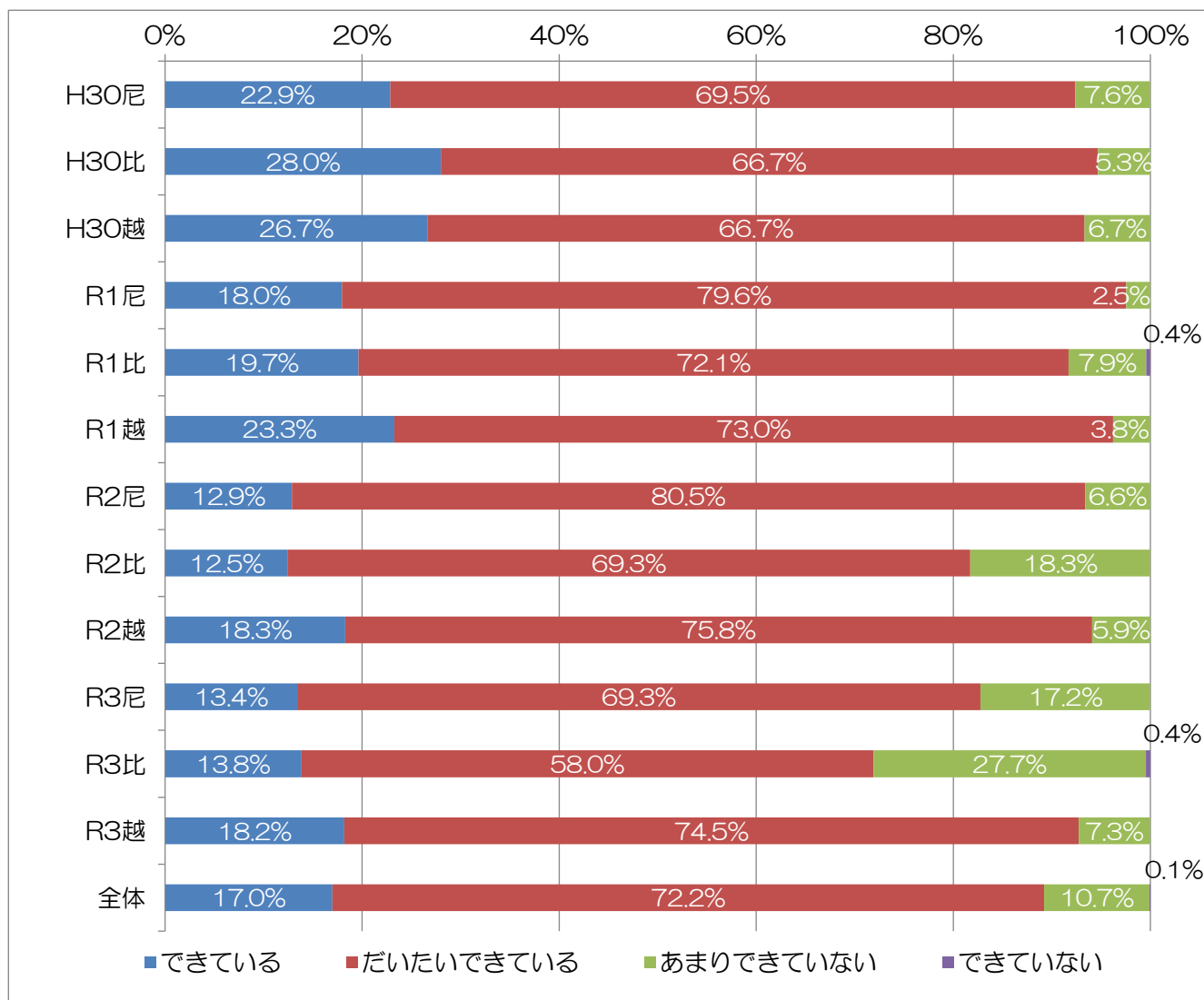


項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
できている	47人 (44.8%)	26人 (34.7%)	5人 (33.3%)	114人 (40.1%)	73人 (31.9%)	46人 (28.9%)	59人 (21.7%)	30人 (11.7%)	39人 (21.0%)	40人 (15.3%)	36人 (16.1%)	27人 (16.4%)	542人 (24.3%)
だいたいできている	57人 (54.3%)	49人 (65.3%)	9人 (60.0%)	167人 (58.8%)	146人 (63.8%)	111人 (69.8%)	201人 (73.9%)	190人 (73.9%)	139人 (74.7%)	191人 (73.2%)	143人 (63.8%)	132人 (80.0%)	1535人 (68.8%)
あまりできていない	1人 (1.0%)	0人 (0.0%)	1人 (6.7%)	3人 (1.1%)	9人 (3.9%)	2人 (1.3%)	12人 (4.4%)	37人 (14.4%)	8人 (4.3%)	30人 (11.5%)	43人 (19.2%)	6人 (3.6%)	152人 (6.8%)
できていない	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (0.4%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	2人 (0.9%)	0人 (0.0%)	3人 (0.1%)

② 日本語の文字によるコミュニケーションについて

「日本語の文字によるコミュニケーション」について質問したところ、「できている」379人、「だいたいできている」1612人、「あまりできていない」239人、「できていない」2人という回答があった。(図3-2)

(図3-2) 日本語の文字によるコミュニケーションについて

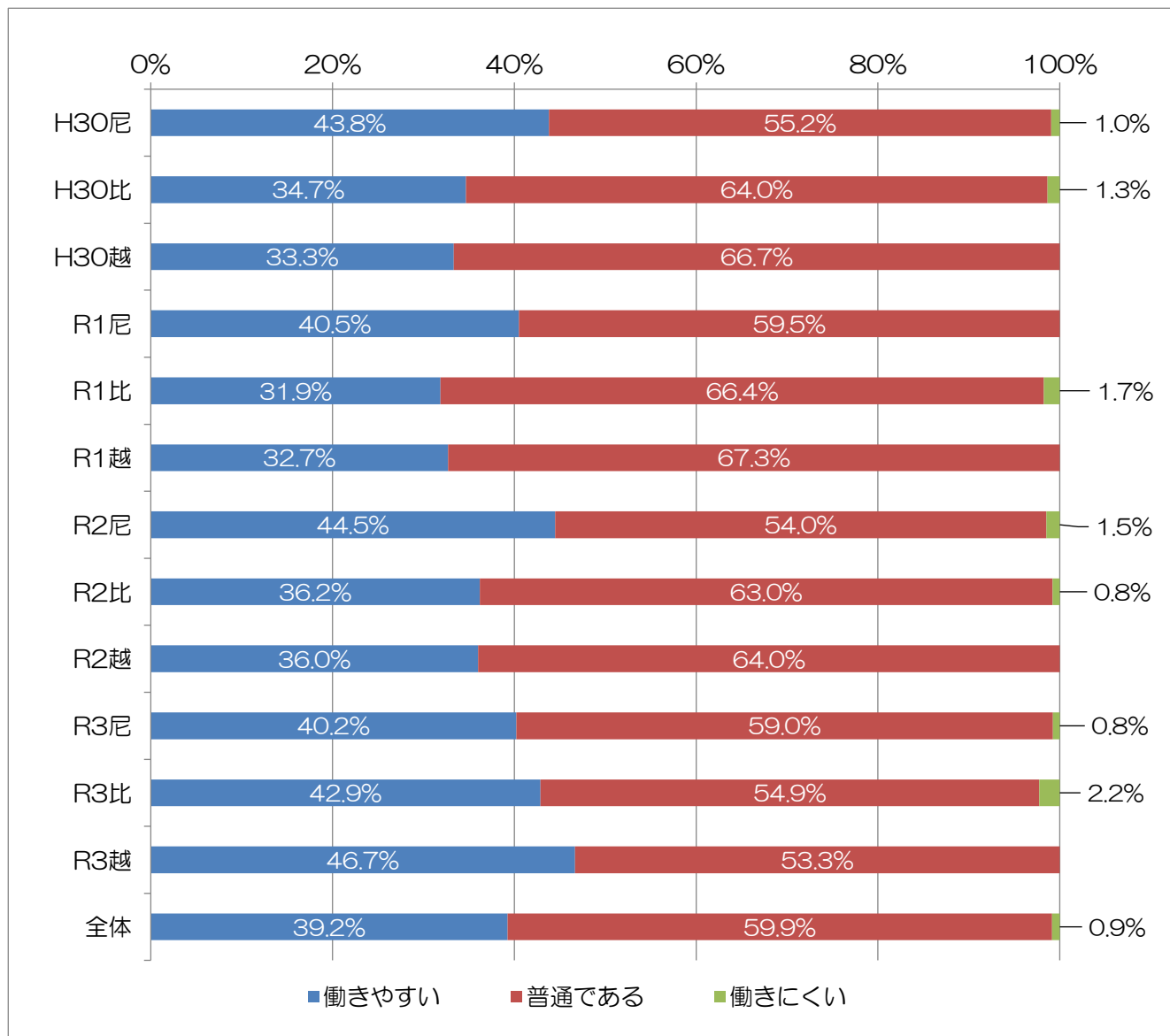


項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
できている	24人 (22.9%)	21人 (28.0%)	4人 (26.7%)	51人 (18.0%)	45人 (19.7%)	37人 (23.3%)	35人 (12.9%)	32人 (12.5%)	34人 (18.3%)	35人 (13.4%)	31人 (13.8%)	30人 (18.2%)	379人 (17.0%)
だいたいできている	73人 (69.5%)	50人 (66.7%)	10人 (66.7%)	226人 (79.6%)	165人 (72.1%)	116人 (73.0%)	219人 (80.5%)	178人 (69.3%)	141人 (75.8%)	181人 (69.3%)	130人 (58.0%)	123人 (74.5%)	1612人 (72.2%)
あまりできていない	8人 (7.6%)	4人 (5.3%)	1人 (6.7%)	7人 (2.5%)	18人 (7.9%)	6人 (3.8%)	18人 (6.6%)	47人 (18.3%)	11人 (5.9%)	45人 (17.2%)	62人 (27.7%)	12人 (7.3%)	239人 (10.7%)
できていない	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (0.4%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (0.4%)	0人 (0.0%)	2人 (0.1%)

③ 現在の就労環境について

「現在の就労環境」について質問したところ、「働きやすい」876人、「普通である」1337人、「働きにくい」19人という回答があった。(図 3-3)

(図 3-3) 現在の就労環境について



項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
働きやすい	46人 (43.8%)	26人 (34.7%)	5人 (33.3%)	115人 (40.5%)	73人 (31.9%)	52人 (32.7%)	121人 (44.5%)	93人 (36.2%)	67人 (36.0%)	105人 (40.2%)	96人 (42.9%)	77人 (46.7%)	876人 (39.2%)
普通である	58人 (55.2%)	48人 (64.0%)	10人 (66.7%)	169人 (59.5%)	152人 (66.4%)	107人 (67.3%)	147人 (54.0%)	162人 (63.0%)	119人 (64.0%)	154人 (59.0%)	123人 (54.9%)	88人 (53.3%)	1337人 (59.9%)
働きにくい	1人 (1.0%)	1人 (1.3%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	4人 (1.7%)	0人 (0.0%)	4人 (1.5%)	2人 (0.8%)	0人 (0.0%)	2人 (0.8%)	5人 (2.2%)	0人 (0.0%)	19人 (0.9%)

④ 週の学習時間について<sup>16</sup>

「週の学習時間」について質問したところ、「施設内における週の学習時間」は平均 6.4 時間、「自宅における週の学習時間」は平均 7.1 時間であった。

ア. 施設内における 1 週間あたりの平均学習時間

項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体 <sup>17</sup>
候補者数(人)	83	50	13	260	209	150	255	243	176	245	207	163	2054
週当たり 平均学習時間 (時間)	5.7	5.6	3.5	6.2	6.6	6.7	5.7	5.2	6.1	5.6	5.6	11.9	6.4

イ. 自宅における 1 週間あたりの平均学習時間

項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
候補者数(人)	95	63	14	279	206	157	269	242	182	254	205	161	2127
週当たり 平均学習時間 (時間)	6.9	6.7	7.6	7.3	6.1	7.5	6.5	5.8	7.4	6.6	5.1	13.4	7.1

<sup>16</sup> 平均学習時間を算出する際の母数は、学習時間の記入があった候補者数。

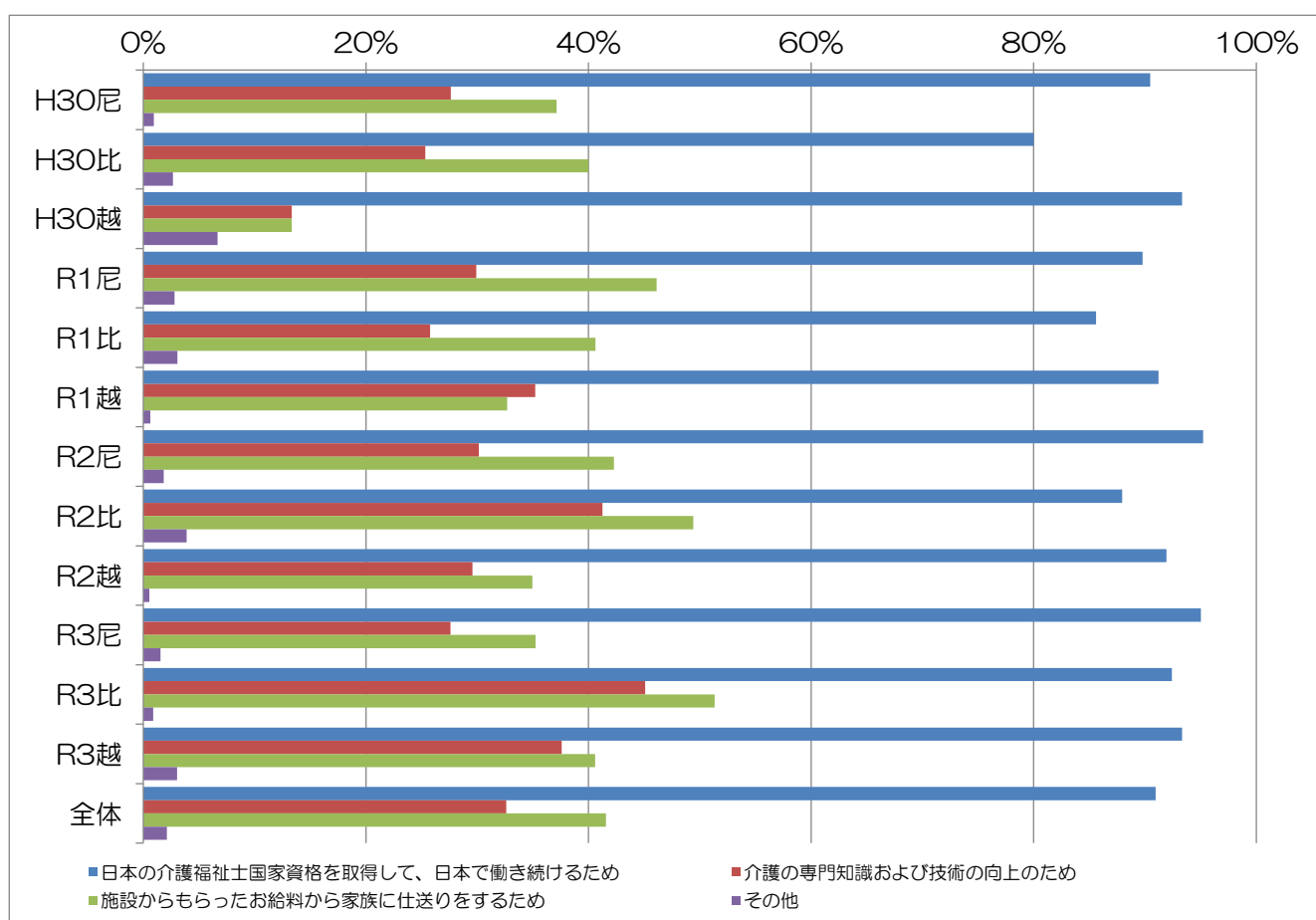
<sup>17</sup> 「全体」の数値は学習時間の記入があった全候補者を母数に学習時間の総合計から算出している為、年度ごとの平均値から全体の平均値を算出した場合とは数値が異なり得る。



⑤ 日本に来た主な目的について

「日本に来た主な目的」について質問したところ、「日本の介護福祉士国家資格を取得して、日本で働き続けるため」2030人、「介護の専門知識および技術の向上のため」728人、「施設からもらったお給料から家族に仕送りをするため」928人、「その他」47人という回答があった。(図 3-4)

(図 3-4) 日本に来た主な目的について (複数回答)



項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
日本の介護福祉士国家資格を取得して、日本で働き続けるため	95人 (90.5%)	60人 (80.0%)	14人 (93.3%)	255人 (89.8%)	196人 (85.6%)	145人 (91.2%)	259人 (95.2%)	226人 (87.9%)	171人 (91.9%)	248人 (95.0%)	207人 (92.4%)	154人 (93.3%)	2030人 (90.9%)
介護の専門知識および技術の向上のため	29人 (27.6%)	19人 (25.3%)	2人 (13.3%)	85人 (29.9%)	59人 (25.8%)	56人 (35.2%)	82人 (30.1%)	106人 (41.2%)	55人 (29.6%)	72人 (27.6%)	101人 (45.1%)	62人 (37.6%)	728人 (32.6%)
施設からもらったお給料から家族に仕送りをするため	39人 (37.1%)	30人 (40.0%)	2人 (13.3%)	131人 (46.1%)	93人 (40.6%)	52人 (32.7%)	115人 (42.3%)	127人 (49.4%)	65人 (34.9%)	92人 (35.2%)	115人 (51.3%)	67人 (40.6%)	928人 (41.6%)
その他 <sup>18</sup>	1人 (1.0%)	2人 (2.7%)	1人 (6.7%)	8人 (2.8%)	7人 (3.1%)	1人 (0.6%)	5人 (1.8%)	10人 (3.9%)	1人 (0.5%)	4人 (1.5%)	2人 (0.9%)	5人 (3.0%)	47人 (2.1%)

<sup>18</sup> その他として「日本の文化を学ぶため」「日本語の上達のため」「家族を日本に呼び寄せるため」等の回答があった。

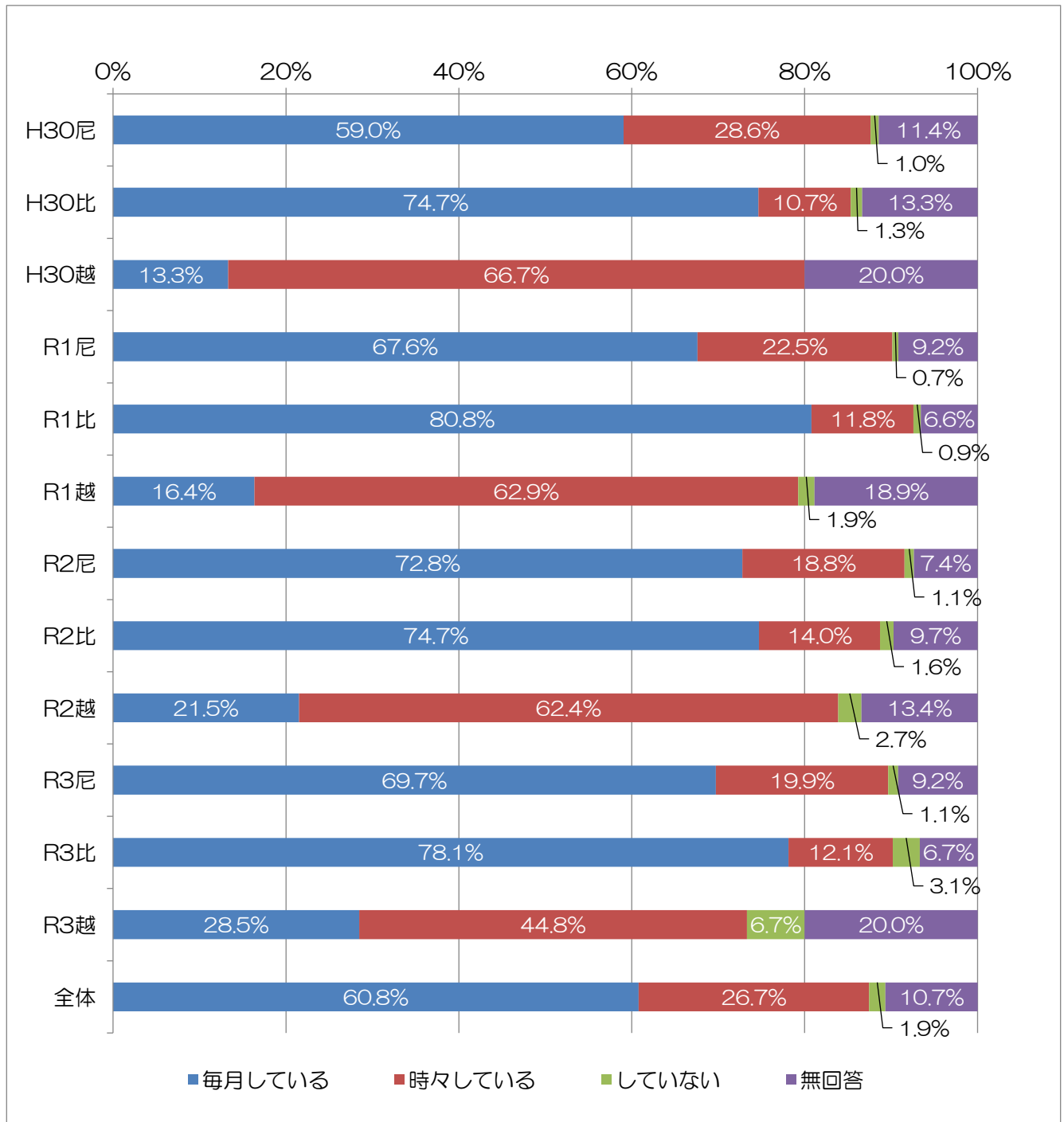
(2) 候補者の生活について

① 母国への仕送りについて

「母国への仕送り」について質問したところ、「毎月している」1357人、「時々している」595人、「していない」42人、「無回答」238人という回答があった。(図3-5)

また、仕送り金額の平均は下記の「平均仕送り額」のとおりである。

(図3-5) 母国への仕送りについて



項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
毎月している	62 人 (59.0%)	56 人 (74.7%)	2 人 (13.3%)	192 人 (67.6%)	185 人 (80.8%)	26 人 (16.4%)	198 人 (72.8%)	192 人 (74.7%)	40 人 (21.5%)	182 人 (69.7%)	175 人 (78.1%)	47 人 (28.5%)	1357 人 (60.8%)
時々している	30 人 (28.6%)	8 人 (10.7%)	10 人 (66.7%)	64 人 (22.5%)	27 人 (11.8%)	100 人 (62.9%)	51 人 (18.8%)	36 人 (14.0%)	116 人 (62.4%)	52 人 (19.9%)	27 人 (12.1%)	74 人 (44.8%)	595 人 (26.7%)
していない	1 人 (1.0%)	1 人 (1.3%)	0 人 (0.0%)	2 人 (0.7%)	2 人 (0.9%)	3 人 (1.9%)	3 人 (1.1%)	4 人 (1.6%)	5 人 (2.7%)	3 人 (1.1%)	7 人 (3.1%)	11 人 (6.7%)	42 人 (1.9%)
無回答	12 人 (11.4%)	10 人 (13.3%)	3 人 (20.0%)	26 人 (9.2%)	15 人 (6.6%)	30 人 (18.9%)	20 人 (7.4%)	25 人 (9.7%)	25 人 (13.4%)	24 人 (9.2%)	15 人 (6.7%)	33 人 (20.0%)	238 人 (10.7%)

平均仕送り額（万円）<sup>19</sup>

項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体 <sup>20</sup>
毎月仕送り	6.4	6.3	15.0	6.6	6.7	8.1	6.3	6.5	8.4	5.9	6.6	8.6	6.6
時々仕送り	11.0	4.4	11.3	8.3	7.9	14.6	8.4	5.4	16.6	7.7	5.5	13.5	11.4

<sup>19</sup> 「毎月」又は「時々」いずれかの仕送り額の開示があった候補者数を母数として算出している。

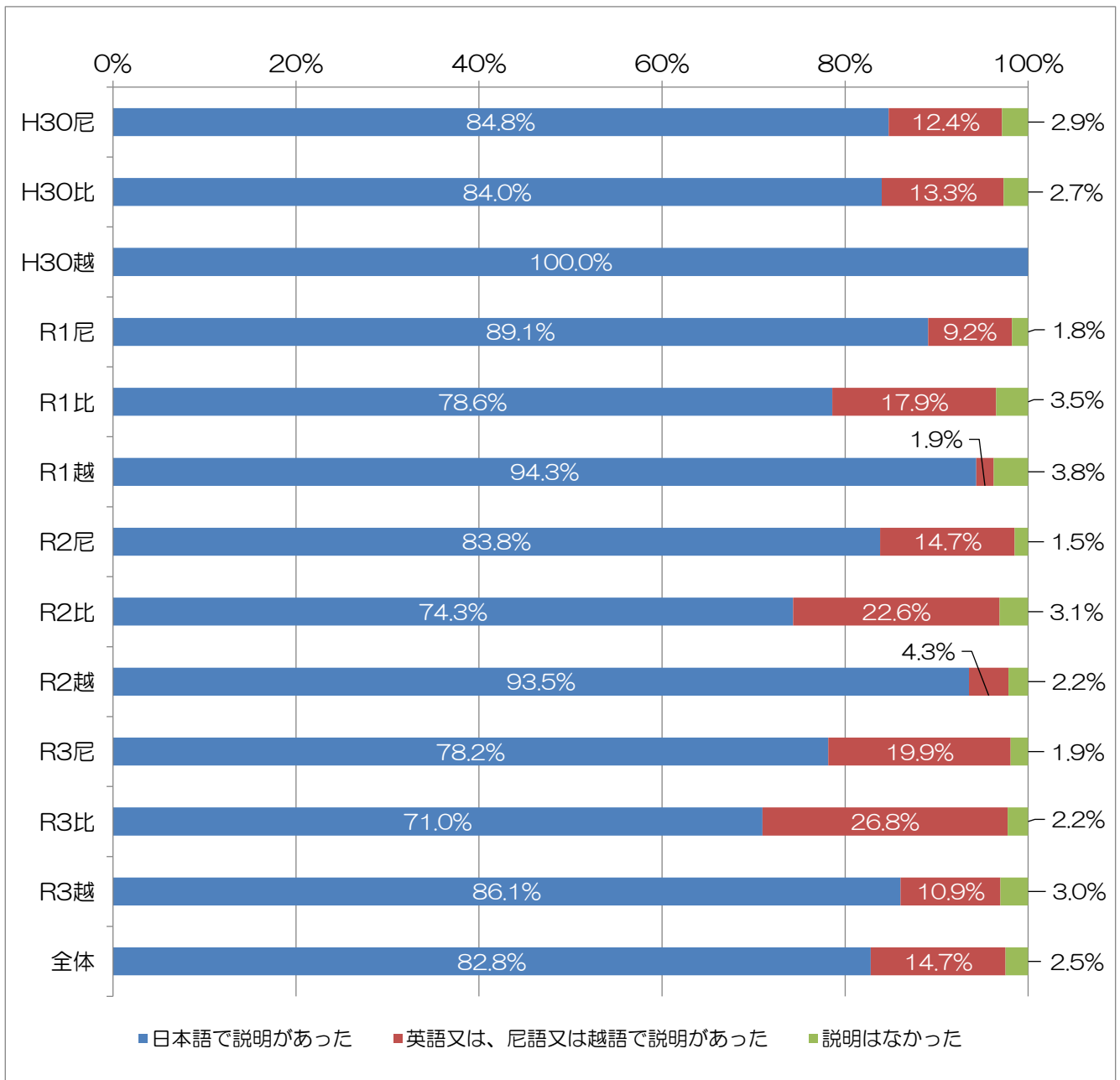
<sup>20</sup> 「全体」の数値は金額開示を行った全候補者を母数に金額の総合計から算出している為、年度ごとの平均値から全体の平均値を算出した場合とは数値が異なり得る。

② 賃金明細の事前説明と理解度について

「賃金の明細内容の事前説明の有無」について質問したところ、「日本語で説明があった」1848人、「英語、尼語又は越語で説明があった」329人、「説明はなかった」55人という回答があった。賃金明細の事前説明について、「説明はなかった」と回答した場合には、施設担当者へ共有し、候補者に対し賃金明細内容の説明をするよう助言した。(図3-6)

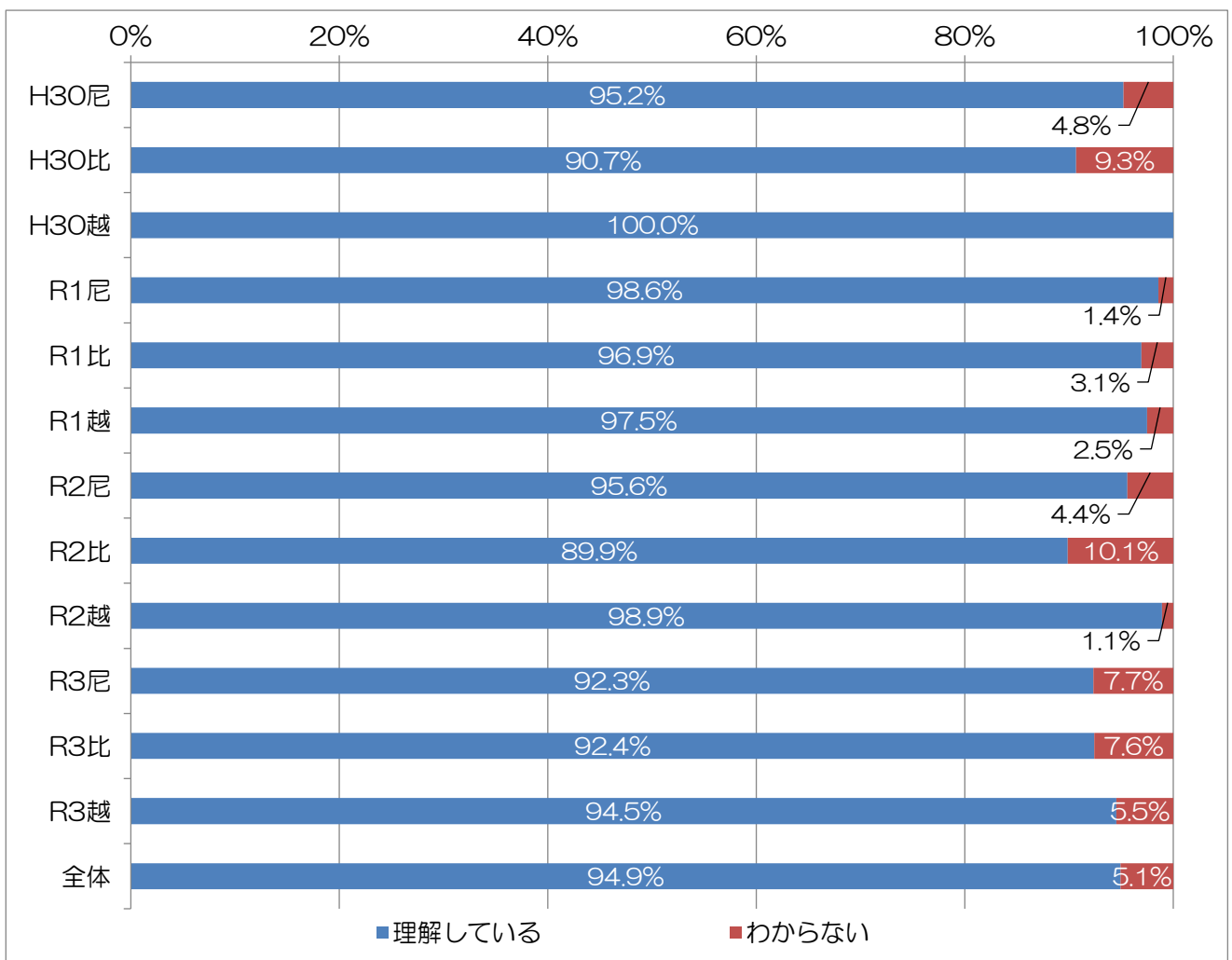
また、「賃金明細の理解度」について質問したところ、「理解している」2119人、「わからない」113人という回答があった。賃金明細について、「わからない」と回答した場合も同様に、施設担当者へ共有し、候補者に対し賃金明細内容の再説明をするよう助言した。(図3-7)

(図3-6) 賃金の明細内容の事前説明について



項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
日本語で説明があった	89人 (84.8%)	63人 (84.0%)	15人 (100.0%)	253人 (89.1%)	180人 (78.6%)	150人 (94.3%)	228人 (83.8%)	191人 (74.3%)	174人 (93.5%)	204人 (78.2%)	159人 (71.0%)	142人 (86.1%)	1848人 (82.8%)
英語又は、尼語又は越語で説明があった	13人 (12.4%)	10人 (13.3%)	0人 (0.0%)	26人 (9.2%)	41人 (17.9%)	3人 (1.9%)	40人 (14.7%)	58人 (22.6%)	8人 (4.3%)	52人 (19.9%)	60人 (26.8%)	18人 (10.9%)	329人 (14.7%)
説明はなかった	3人 (2.9%)	2人 (2.7%)	0人 (0.0%)	5人 (1.8%)	8人 (3.5%)	6人 (3.8%)	4人 (1.5%)	8人 (3.1%)	4人 (2.2%)	5人 (1.9%)	5人 (2.2%)	5人 (3.0%)	55人 (2.5%)

(図 3-7) 賃金明細の理解度について

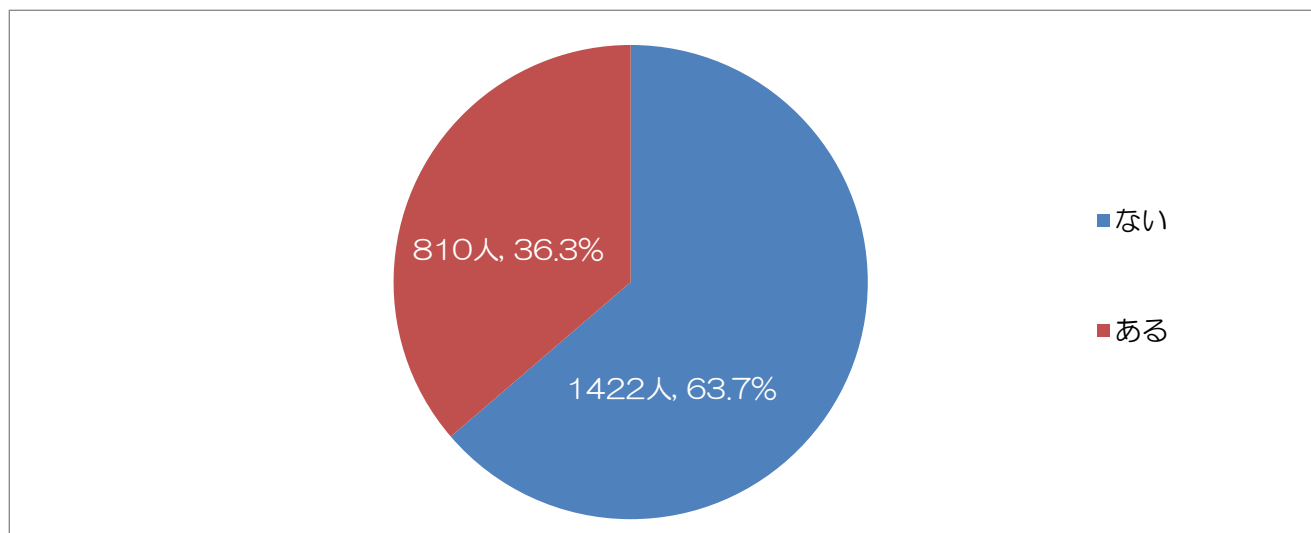


項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
理解している	100人 (95.2%)	68人 (90.7%)	15人 (100.0%)	280人 (98.6%)	222人 (96.9%)	155人 (97.5%)	260人 (95.6%)	231人 (89.9%)	184人 (98.9%)	241人 (92.3%)	207人 (92.4%)	156人 (94.5%)	2119人 (94.9%)
わからない	5人 (4.8%)	7人 (9.3%)	0人 (0.0%)	4人 (1.4%)	7人 (3.1%)	4人 (2.5%)	12人 (4.4%)	26人 (10.1%)	2人 (1.1%)	20人 (7.7%)	17人 (7.6%)	9人 (5.5%)	113人 (5.1%)

③ 健康状態について

「健康状態」について質問したところ、「具合の悪いところはない」1422人、「具合の悪いところがある<sup>21</sup>」810人という回答があった。(図 3-8)

(図 3-8) 健康状態について



<sup>21</sup> 「具合が悪い」主な部位としては、「腰」「肩」「背中」「頭」「足」等の回答があった。

なお、「具合が悪い箇所がある」と回答した場合には、本人の同意のもと施設担当者へ共有し、対応を促した。

(3) 身分証明書等の管理について

候補者に「パスポートの保管状況」、「在留カードの携帯状況」、「在留資格の更新の状況」について質問した。

「パスポートの保管状況」については、全候補者が自身で保管していることが確認できた。

「在留カードの携帯状況」については、「携帯していない」11件という回答があった。該当する候補者に対しては、常時携帯する必要性を説明した。

① パスポートの保管について

項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
自分で保管	105人 (100.0%)	75人 (100.0%)	15人 (100.0%)	284人 (100.0%)	229人 (100.0%)	159人 (100.0%)	272人 (100.0%)	257人 (100.0%)	186人 (100.0%)	261人 (100.0%)	224人 (100.0%)	165人 (100.0%)	2232人 (100.0%)
施設が保管	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)

② 在留カードの携帯について

項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
毎日携帯している	105人 (100.0%)	75人 (100.0%)	15人 (100.0%)	282人 (99.3%)	229人 (100.0%)	157人 (98.7%)	270人 (99.3%)	257人 (100.0%)	186人 (100.0%)	258人 (98.9%)	222人 (99.1%)	165人 (100.0%)	2221人 (99.5%)
携帯していない <sup>22</sup>	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	2人 (0.7%)	0人 (0.0%)	2人 (1.3%)	2人 (0.7%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	3人 (1.1%)	2人 (0.9%)	0人 (0.0%)	11人 (0.5%)

③ 当年度の在留資格の更新について

項目	H30 尼	H30 比	H30 越	R1 尼	R1 比	R1 越	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	全体
はい	79人 (75.2%)	62人 (82.7%)	13人 (86.7%)	226人 (79.6%)	206人 (90.0%)	122人 (76.7%)	192人 (70.6%)	249人 (96.9%)	123人 (66.1%)	173人 (66.3%)	160人 (71.4%)	75人 (45.5%)	1680人 (75.3%)
今後行う予定	23人 (21.9%)	13人 (17.3%)	2人 (13.3%)	55人 (19.4%)	21人 (9.2%)	33人 (20.8%)	77人 (28.3%)	6人 (2.3%)	57人 (30.6%)	84人 (32.2%)	57人 (25.4%)	78人 (47.3%)	506人 (22.7%)
いいえ	3人 (2.9%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	3人 (1.1%)	2人 (0.9%)	4人 (2.5%)	3人 (1.1%)	2人 (0.8%)	6人 (3.2%)	4人 (1.5%)	7人 (3.1%)	12人 (7.3%)	46人 (2.1%)

以上

<sup>22</sup> 携帯していないと回答した候補者には、常に携帯するように助言した。